



取扱説明書
HUSQVARNA AUTOMOWER®
435X AWD NERA



JA, 日本語

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。

目次

1 安全性		5.8 セキュリティ	30
1.1 安全性の定義	4	5.9 Automower® Connect (Bluetooth® のみ)	31
1.2 一般的な安全注意事項	4	5.10 メッセージ	31
1.3 設置の安全注意事項	5	5.11 芝刈りプロファイル	31
1.4 操作のための安全注意事項	5	5.12 無線ファームウェアのダウンロード (Firmware over the air FOTA)	31
1.5 メンテナンスのための安全注意事項	5	5.13 Automower® Intelligent Mapping (AIM)	31
1.6 バッテリーの安全	6	5.14 チャージステーションを地図上に再設置 するには	31
1.7 本製品の持ち上げと移動	6	5.15 リファレンスステーションを地図上に再 設置するには	32
1.8 サイバーセキュリティ	6		
2 はじめに		6 Operation (操作)	
2.1 サポート	8	6.1 本製品をオンにする	33
2.2 製品の説明	8	6.2 動作モードの [Start (開始)] を選択する	33
2.3 製品の概要	9	6.3 リモートコントロール	33
2.4 製品に表記されるシンボルマーク	10	6.4 動作モード - Park (駐車)	33
2.5 LED ステータスインジケータ	11	6.5 本製品の停止方法	34
2.6 バッテリーのマーク	11	6.6 本製品をオフにする	34
2.7 ディスプレイ上のアイコン	11	6.7 バッテリーの充電	34
2.8 Automower® Access のメニューツリーの概要	12		
2.9 製品の損傷	13	7 メンテナンス	
3 仮想境界を使用した設置		7.1 はじめに - メンテナンス	35
3.1 はじめに	14	7.2 メンテナンスのスケジュール	35
3.2 システムの説明	14	7.3 製品の清掃	36
3.3 EPOS™ を使用して設置する場合のシステ ム概要	14	7.4 ブレードの交換	37
3.4 設置計画を立てる	15	7.5 バッテリー	38
3.5 作業エリアの準備	15	7.6 冬期の保守	38
3.6 チャージステーションの設置準備	15		
4 境界ワイヤーを使用した設置		8 トラブルシューティング	
4.1 はじめに - 設置	18	8.1 はじめに - トラブルシューティング	39
4.2 設置用の主要部品	18	8.2 Automower® Access ディスプレイのエラ ーシンボル	39
4.3 設置準備	18	8.3 メッセージ	41
4.4 ワイヤーを設置する前に	18	8.4 チャージステーションの LED インジケータ	50
4.5 本製品の設置	23	8.5 症状	51
		8.6 ループワイヤーの損傷を発見	53
5 設定		9 搬送、保管、廃棄	
5.1 スケジュール	27	9.1 搬送	56
5.2 刈高	27	9.2 保管	56
5.3 パターン	27	9.3 廃棄	56
5.4 操作	28		
5.5 設置の設定	28	10 主要諸元	
5.6 アクセサリー	30	10.1 主要諸元	58
5.7 全般 (Bluetooth® のみ)	30	10.2 登録商標	60

11 日本市場に適用可能

11.1 コンプライアンス要件.....	61
----------------------	----

1 安全性

1.1 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

1.2 一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書をよくお読みにになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。後で参照できるように保管しておいてください。
- 本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人や子供、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。ただし、EU 要件により、本機は 8 才以上の小児、または身体的、知覚的、精神的障害のある方、および経験や知識の浅い方でも、保護者または責任者の監視の下、または本装置の安全な使用に関する説明を受け、起こりうる危険について理解した上で使用することができます。本装置を小児の遊具にしないでください。クリーニングおよびメンテナンスは、保護者による監視のない限り、小児に行わせてはいけません。
- 本製品には、Husqvarna から推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。
- 本製品の損傷および車両や人身事故を防ぐため、公共の道路や通路を横断するような作業エリアや輸送経路を設置しないでください。
- 本製品は玩具ではありません。本製品のブレードは、人や動物を負傷させるおそれがあります。
- 作動中は、8 歳未満のお子様は作業エリアに立ち入らないように注意してください。作動中は、お子様および動物を常に監視する必要があります。
- 本製品の作動中は、人と本製品との距離を 3 m（10 フィート）以上空ける必要があります。本製品の作動中は、作業エリアで睡眠を取ったり日光浴をしたりしないでください。
- 本製品が公共の場所で動作する場合は、作業エリアに警告標識を設置する必要があります。標識には次のテキストを含める必要があります。警告! ロボット芝刈機! 機械に近づかないでください! お子様を近づけないでください!
- appDrive を使用して本製品を手動操作しているときに、走らないでください。常に自分が安全で安定した位置にいることを確認してください。急斜面での作動時は、本製品の近くに人がいないことを確認してください。appDrive を使用して本製品を操作しているときは、必ず丈夫な靴と長ズボンを着用してください。
- 本製品をオフにするには、本製品の後方で STOP ボタンを押します。アプリを使用して本製品を一時停止することができます（該当する製品の場合）。本製品をオフにした後、3 秒以上待ってから本製品を移動してください。
- 詰まりを解消する前、メンテナンスまたは検査を行う前や、製品が異常に振動し始めた場合は、本製品をオフにしてください。本製品を再起動する前に、損傷がないことを点検してください。損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険な部品には触らないでください。
- 負傷や事故が発生した場合は、医療機関にご相談ください。
- 電源ケーブルと延長ケーブルを作業エリアに置かないでください。ケーブルが損傷するおそれがあります。
- 損傷したケーブルやプラグを接続したり、電源から切断する前に損傷したケーブルに触れたりしないでください。動作中にケーブルが損傷した場合は、電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- 電源を電源コンセントに接続する際は、クラス A の接地事故回路遮断装置（GFCI）または最大定格値 30 mA の漏電遮断器（RCD）を備えた電源コンセントを使用してください。
- 本製品は付属のチャージステーションでのみ充電してください。バッテリーを安全に廃棄する方法については、「廃棄 56 ページ」を参照してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水／中和剤で洗い流します。腐食性の液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。
- Husqvarna が推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場

合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。

- 設置手順（作業エリアの指定を含む）に従ってください。参照：仮想境界を使用した設置 14 ページ。
- 本製品の始動と操作に関する手順に従ってください。参照：Operation（操作）33 ページ。
- 雷雨の危険性がある場合は、Husqvarna では、電気部品の損傷を防ぐためにチャージステーションへの電源とすべての配線の接続を外すことをお勧めします。雷雨の危険がなくなった場合に電源装置とすべての配線を再度接続します。すべての配線が正しく接続されていることが重要です。
- 保守手順に従い、必要に応じて Husqvarna 純正のスペアパーツを使用します。「メンテナンス 35 ページ」を参照してください。
- 質量、寸法、騒音排出値などの主要諸元については、「主要諸元 58 ページ」を参照してください。
- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故または危険の責任を負います。
- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者のみが行ってください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。
- 電気的安全性に関する各国の規制に従ってください。
- Husqvarna は、リモコンや無線送信機などの他の無線システムと本製品の間の互換性を完全に保証していません。
- 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- 動作温度および保管温度範囲は 0-50 °C / 32-122 °F です。充電時の温度範囲は 5-45 °C / 41-113 °F です。温度が高すぎると、本製品が損傷する可能性があります。

1.3 設置の安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 人がつまずくおそれがあるエリアには、チャージステーションを設置しないでください。
- チャージステーションおよびアクセサリは、可燃物から 60 cm（24 インチ）以内の場所には設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。
- 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。
- 蟻などの害虫がいる場所には、チャージステーションを設置しないでください。

- 米国／カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合：感電のおそれがあります。必ずアタッチメントプラグキャップを抜き差しできる耐候性のエンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル（RCD）に取り付けてください。
- 水が溜まるおそれがある場所に、チャージステーションを設置しないでください。

1.4 操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。電源がオンの場合は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。
- 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、駐車モードを使用するか、本製品をオフにしてください。本製品をオフにする 34 ページを参照してください。Husqvarna は、作業エリアにアクティビティがない場合に動作するように本製品を設定することをお勧めします。本製品は、夜に作業エリアでハリネズミなどの動物を負傷させる原因となることがあります。本製品をオフにする 34 ページを参照してください。
- 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードが障害物に当たると、損傷するおそれがあります。
- 本製品がオンに設定されている場合は、持ち上げたり移動したりしないでください。
- 本製品が人や動物に衝突しないようにしてください。人や動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止してください。本製品の停止方法 34 ページを参照してください。
- 本製品やチャージステーション上に物を置かないでください。
- [STOP] ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 使用中でないときは、本製品をオフに設定してください。正しい PIN コードを入力した場合のみ本製品を起動できます。
- ポップアップスプリンクラーと同時に本製品を使用しないでください。スケジュール機能を使用して、本製品とポップアップスプリンクラーが同時に動作しないようにしてください。スケジュール 27 ページを参照してください。
- 作業エリアに水が溜まっている場合は、本製品を動作させないでください。例えば、大雨で水たまりができています。

1.5 メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- 製品のメンテナンスを行う場合に **OFF** に設定します。
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。本製品の清掃には溶剤を使用しないでください。
- チャージステーションの清掃またはメンテナンスを行う前に、チャージステーションのプラグを抜いてください。

1.6 バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電氣的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。
- 損傷したバッテリーは使用しないでください。バッテリーが損傷している場合は破棄します。「廃棄 56 ページ」を参照してください。

1.7 本製品の持ち上げと移動

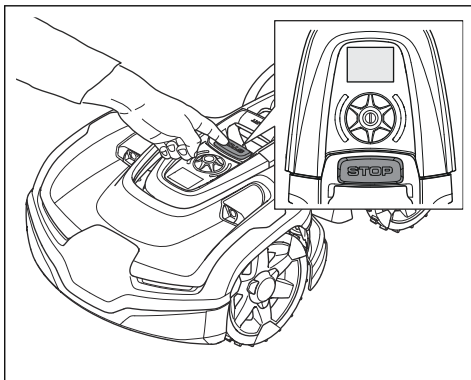


警告： 本製品を持ち上げる前に、オフに設定する必要があります。LED ステータスインジケータの消灯時、本製品はオフになっています。

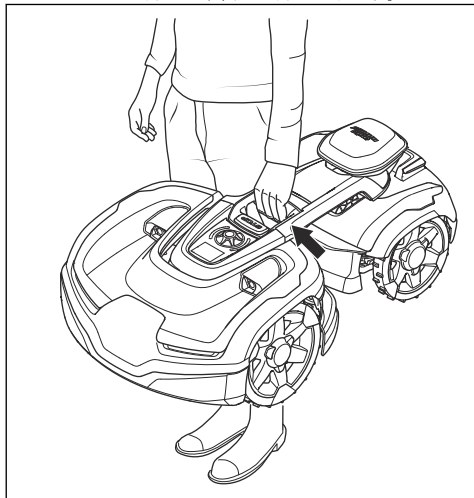


注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品を損傷するおそれがあります。**STOP** ボタンを押し、本製品をチャージステーションから引き出してから、本製品を持ち上げてください。

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. 必要に応じて PIN コードを入力します。
3. **ジョグホイール**を 3 秒間押し続け、本製品のスイッチをオフにします。
4. LED ステータスインジケータが消灯することを確認します。
5. ハンドルを持って本製品を持ち上げます。



1.8 サイバーセキュリティ

セキュリティの推奨事項：

- 信頼性のないネットワークやパブリックネットワーク上で、本製品のセットアップや操作をしないでください。
- システムのセキュリティを維持するために、利用できるファームウェアのアップデートがないかを定期的に確認してください。

1.8.1 Bluetooth® インターフェイス

Bluetooth® インターフェイスはデフォルトで有効になっており、セットアップやモバイルデバイスへの接続、ローカルデバイスの制御、本製品とモバイルデバイスの構成をサポートします。Bluetooth® 接続では、アプリを介して、製品ごとに異なる PIN コードまたはパスワードを使用します。すべてのデバイス接続は、標準的な BLE 暗号化によって保護されます。セキュリティを強化するために、強力な一意の PIN を使用してください。

1.8.2 セルラーインターフェイス

セルラーインターフェイスは、コンパニオンアプリ経由によるリモートアクセスを可能にし、ファームウェアのアップデートに対応して、位置情報サービスを提供します。本製品は、業界標準のプロトコルを使用して、携帯電話通信による接続の安全性を確保します。

1.8.3 位置情報サービス

位置情報サービスは、GPS を使用して本製品の位置を表示します。これは、ジオフェンス機能（盗難防止機能）を有効にして、コンパニオンアプリで本製品の位置を表示するサービスです。

1.8.4 外部サービス

ネットワークインターフェイスで以下のサービスを利用できます。

- バックエンドサービス：コンパニオンアプリ、Web ベースのポータル、またはテレメトリデータ交換によるアクセス認証により、本製品の安全な管理と構成を実現します。
- ファームウェアのアップデートサービス：このサービスは、無線通信経由で新しいファームウェアを本製品に送信します (FOTA)。これらのアップデートにより、本製品のセキュリティおよび製品機能が最新の状態に維持されます。
- 位置情報サービス：このサービスは、GPS を使用して本製品の位置を表示します。利用するには、アプリでこのサービスを有効にする必要があります。

2 はじめに

工場出荷時の PIN コード : 1234

製造番号 :

製品番号 :

製造番号および製品番号は本製品の銘板と梱包箱に記載されています。

- www.husqvarna.com で製品を登録してください。製品の製造番号、製品番号、購入日を入力して、製品を登録します。

2.1 サポート

本製品のサポートについては、のサポートセクションに移動して、手順、トラブルシューティングガイドにアクセスするか、Husqvarna セルフサービスと製品アシスタントを使用してください（お住まいの地域で利用可能な場合）。本製品のさらなるサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

2.2 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。「サポート 8 ページ」を参照してください。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、芝を自動的に刈り込みます。芝刈りと充電を常に交互に繰り返します。本製品は、バッテリーの充電残量が低下するか、作業エリアの芝刈りが終わるまで稼働し、チャージステーションに移動します。本製品の動作は、不規則または規則的なパターンに設定できます。頻繁に芝刈りを行うことで、芝の質を向上させ、肥料の使用を減らすことができます。芝を集草する必要はありません。

使用者は、本製品の Automower® Access で動作設定を選択します。ディスプレイには、選択した動作設定、可能な動作設定、および本製品の動作モードが表示されます。

2.2.1 設置方法

本製品は、EPOS™ 技術を使用した仮想境界、または境界ワイヤーを使用した物理的境界で設置できます。

EPOS™ 技術による仮想境界を使用する設置については、**仮想境界を使用した設置 14 ページ**を参照してください。境界ワイヤーの設置については、**境界ワイヤーを使用した設置 18 ページ**を参照してください。

2.2.2 Automower® Access

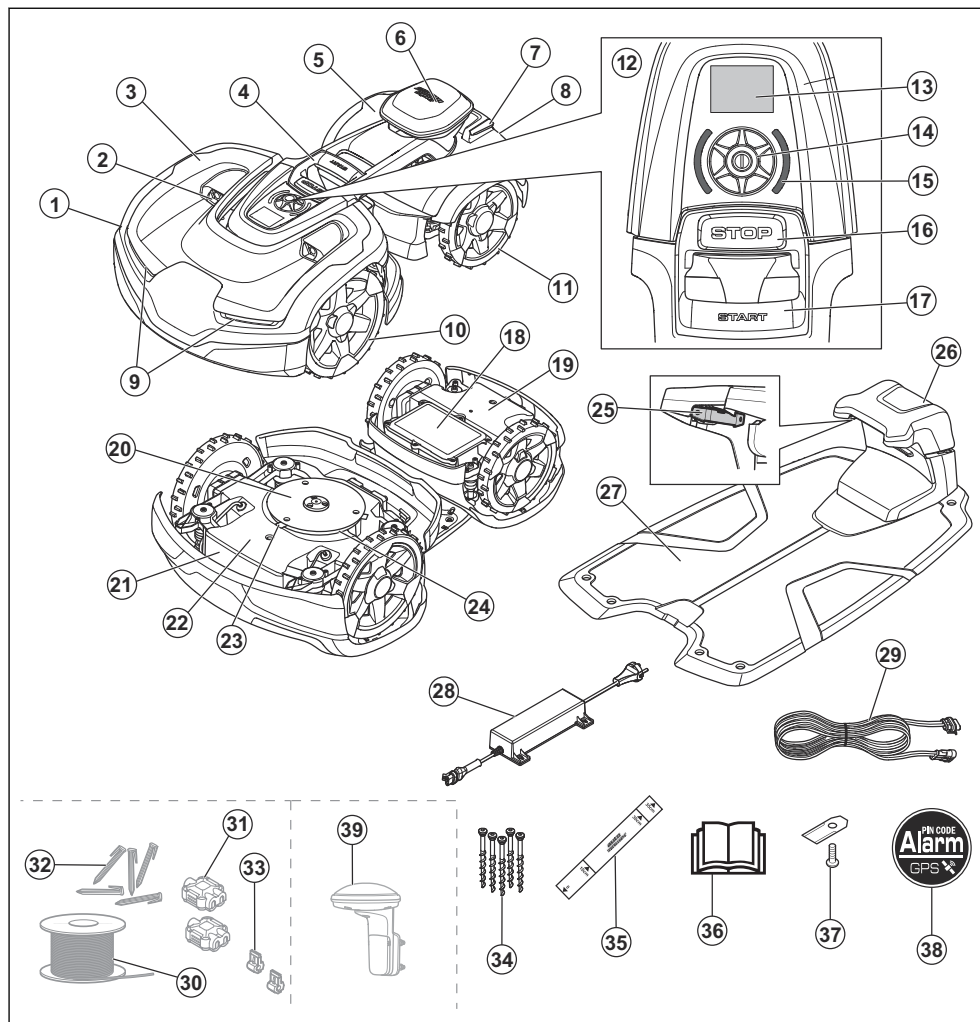
Automower® Access は、本製品のユーザーインターフェイスです。インターフェイスには、ディスプレイ、ジョグホイール、STOP ボタンなどがあります。

Automower® Access のメニューツリーの概要 12 ページを参照してください。

2.2.3 Automower® Connect

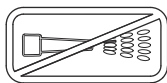
Automower® Connect は、動作設定をリモートで選択できるモバイルアプリケーションです。本製品は、Bluetooth® および携帯電話の接続を介してアプリに接続できます。本製品の近くにいる場合は、Bluetooth® を使用してモバイルデバイスと本製品を接続できます。一部の設定は、Bluetooth® を使用して接続する必要があります。本製品が携帯電話のネットワークに接続している場合、どこからでも制御できます。本製品の設定を行うこともできます。「境界ワイヤーを使用した設置 18 ページ」を参照してください。

2.3 製品の概要 -

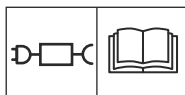


- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. フロント本体 | 11. リヤホイール |
| 2. 超音波センサー | 12. Automower® Access |
| 3. フロントトップカバー | 13. ディスプレイ |
| 4. ハンドル | 14. ジョグホイール |
| 5. リヤ本体 | 15. LED ステータスインジケータ |
| 6. EPOS™ モジュール | 16. [STOP] ボタン |
| 7. チャージプレート | 17. [START] ボタン |
| 8. リヤトップカバー | 18. バッテリーカバー |
| 9. ヘッドライト | 19. 電子部品、バッテリー、モーターを搭載したリヤシャーシ |
| 10. フロントホイール | |

20. スキッドプレート
21. シリアルプレート（製品識別コードを含む）
22. 電子部品とモーターを搭載したフロントシャーシ
23. ブレード
24. ブレードディスク
25. 接触板
26. チャージステーションの LED インジケータ
27. チャージステーション
28. 電源¹
29. 低電圧ケーブル
30. 境界ワイヤーとガイドワイヤー用のループワイヤー²
31. ループワイヤーのカプラー³
32. ベグ⁴
33. ループワイヤーのコネクター⁵
34. チャージステーション取り付けネジ
35. 境界ワイヤー設置用測定ゲージ（測定ゲージは本製品の Karton から取り外します）
36. 取扱説明書およびクイックガイド
37. 予備のブレード
38. アラームステッカー
39. リファレンスステーション



本製品のお手入れに高圧洗浄機や流水を使用しないでください。



このシンボルの横にある定格ラベルに記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。



本製品は EU 指令適合製品です。



本製品は UK 指令適合製品です。



本製品は家庭ゴミではありません。電気・電子機器の認定済み処理業者にリサイクルを依頼してください。

2.4 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されていません。しっかりと確認してください。



警告：本製品を使用する前に説明書をお読みください。



警告：本製品を操作したり、持ち上げたりする前に、本製品をオフにしてください。



警告：操作時は、本製品から安全な距離を保ってください。回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告：本製品の上に乗らないでください。本製品に手や足を近づけたり、本製品の下に手や足を入れたりしないでください。



シャーシには、静電放電（ESD）に弱い部品が含まれています。シャーシは、専門的な方法で再度密閉する必要があります。このため、シャーシは、必ず認定サービス技術者が開けるようにしてください。シールが破れていると、製品全体または部品の保証が有効でなくなる可能性があります。



低電圧ケーブルを短くしたり、延長したり、接合したりしないでください。

低電圧ケーブルの近くでトリマーを使用しないでください。ケーブルの敷設場所で際刈りをする場合は、十分に注意してください。

¹ 外観は市場によって異なる場合があります。

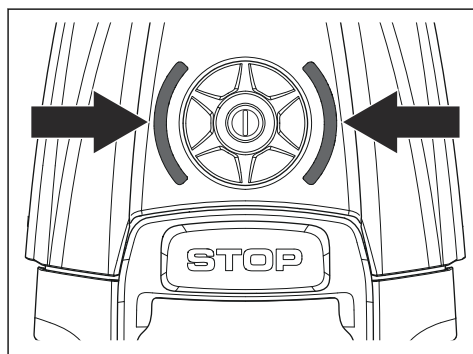
² 別売りの設置キットの一部です。

³ 注 2 を参照

⁴ 注 2 を参照

⁵ 注 2 を参照

2.5 LED ステータスインジケータ



LED	ステータス
緑色の点灯	動作中です。
緑色ライトの点滅	一時停止しています。
緑色ライトの脈動	充電中
赤色の点灯	エラーです。
黄色の点灯	停止中です。
黄色ライトの点滅	PIN コードの待機中
青色の点灯	駐車して充電中です。
青色ライトのパルス点灯	駐車して充電中です。
赤色ライトの点滅	駐車/Bluetooth® ペ어링操作が有効になっています。
白色の点灯	製品がオフに設定されているか、ファームウェアをダウンロードしています。
白色ライトのパルス点灯	ファームウェアをインストール中です。

2.6 バッテリーのマーク



警告：リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、手荒に扱ったりすると、爆発したり火災を起こす原因となります。水、火、高温にさらさないでください。



取扱説明書をお読みください。



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。



バッテリーは水の中に入れてください。

2.7 ディスプレイ上のアイコン



本製品は作動しています。



本製品は駐車しています。



本製品は一時停止しました。



エラーが発生しました。



本製品はリモート制御です。



本製品の刈高。



携帯電話の信号の強さ。



Bluetooth® 接続が有効になっています。

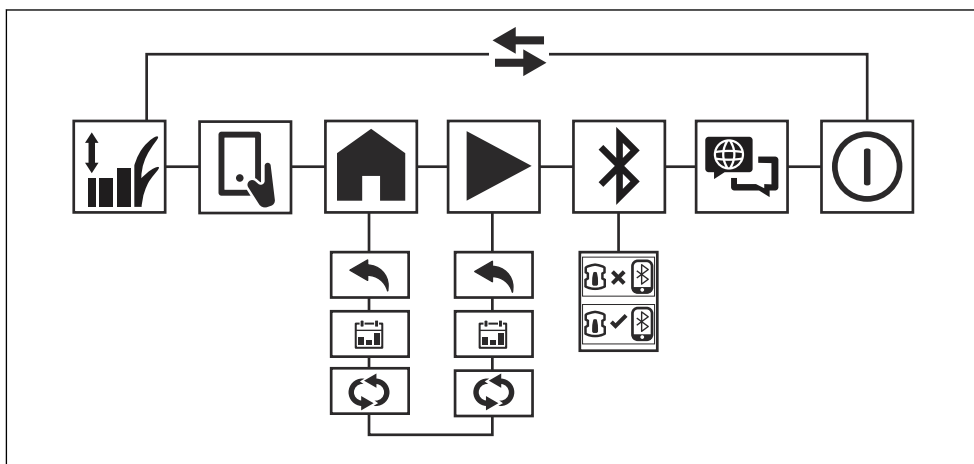


バッテリーは充電中です。



バッテリーレベル。

2.8 Automower® Access のメニューツリーの概要



2.8.1 Automower® Access のメインメニューの記号



刈高

〔Cutting height (刈高)〕メニューでは、刈高を調整できます。



リモートコントロール

〔Remote control (リモート制御)〕メニューでは、Automower® Connect アプリを使用して本製品をリモート制御するように選択できます。



駐車

〔Park (駐車)〕メニューでは、次にスケジュールされている動作開始、または通知が表示されるまで、本製品を駐車するように設定できます。



芝刈り

〔Mow (芝刈り)〕メニューでは、本製品がスケジュール通りに、またはスケジュールのオーバーライドモードで動作するように設定できます。



接続

〔Connect (接続)〕メニューでは、Bluetooth® を有効にして、モバイルデバイスとのペアリング操作を行うことができます。



言語

〔Language (言語)〕メニューでは、表示する言語を選択できます。



電源オフ

〔Power off (電源オフ)〕で、本製品をオフにします。

2.8.2 Automower® Access のサブメニューにある記号



戻る

〔Back (戻る)〕を選択すると、メインメニューに戻ります。



スケジュール

[Schedule (スケジュール)] サブメニューでは、Automower® Connect アプリで設定したスケジュールに従って動作するように選択できます。



スケジュールのオーバーライド

[Park (駐車)] メニューでは、スケジュールをオーバーライドして、更なる通知まで駐車するように選択できます。

[Mow (芝刈り)] メニューでは、動作を継続して、スケジュールをオーバーライドするように選択できます。

作業エリアが 1 つしかない場合は、スケジュールのオーバーライドを選択し、動作モードを変更するまで刈り込みを続けることができます。

作業エリアが複数ある場合は、スケジュールのオーバーライドを選択し、作業エリアの 1 つのみで刈り込みを行うことができます。不規則な芝刈りを伴う作業エリアでは、動作モードを変更するまで、本製品がそのエリアを刈り込みます。体系化された作業エリアでは、本製品がそのエリアを完了するまで刈り込み、その後チャージステーションに駐車します。



接続済み

本製品とモバイルデバイスは Bluetooth® で接続されています。



接続なし

本製品とモバイルデバイスは Bluetooth® で接続されていません。

2.9 製品の損傷

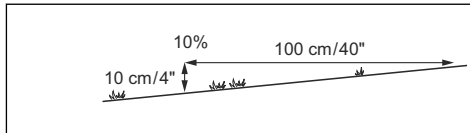
以下の場合、当社は製品の損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定販売店で本製品が修理されていない場合。

4. リファレンスステーション⁶
5. 修正データ
6. チャージステーション
7. 仮想境界
8. 進入制限ゾーン
9. 作業面積
10. モバイルデバイス
11. ドッキングポイント
12. 輸送経路
13. ロボット芝刈機

3.4 設置計画を立てる

- 設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。
- 作業エリアの青写真を作成します。すべての障害物に加えて、チャージステーション、作業エリア、進入制限ゾーン、メンテナンスポイント、輸送経路、リファレンスステーションを配置する位置を青写真に記入します。
- 本製品は、作業エリアの 70% 斜面でも動作します。仮想境界の最大斜度は 50% です。勾配 (%) は、1 メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



- 作業エリアに L 字型の建物があると、建物で衛星信号が遮られ、該当エリアでの芝刈機の動作に影響を及ぼす可能性があります。仮想境界は、建物から 1.5 m (5 フィート) 以上離れた位置に設置できます。
- 建物、生け垣、樹木など、両側に高い物体がある、4 m (13 フィート) 未満の通路には輸送経路を作成し、本製品が芝刈りを行わずに通過するようにします。
- 樹冠と境界の間の距離が 4 m (13 フィート) 未満で、本製品が頻繁に停止する場合は、後で進入制限ゾーンを追加して、このエリアを含めないようにすることができます。

3.5 作業エリアの準備

- 芝生の穴を埋めて水平にします。
- 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。芝の高さが 6 cm (2.5 インチ) 以下であることを確認します。
- 本製品が Husqvarna® Cloud から修正データを取得できることを確認します。作業エリア全体で携帯電話通信が利用可能であれば、本製品は修正データを取得できます。作業エリア全体で携帯電話通信が利用できない場合は、ローカルのリファレンスステーション、または Automower® Connect キッ

トを設置して、修正データを取得することもできます。

- 設置場所が水辺、斜面、崖、または公道の近くである場合は、保護バリアを設置してください。バリアの高さは 15 cm (6 インチ) 以上にする必要があります。

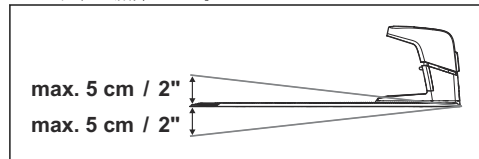


注意： 保護バリアにより、本製品の水への落下、斜面での滑落、公道への進入を防ぐことができます。

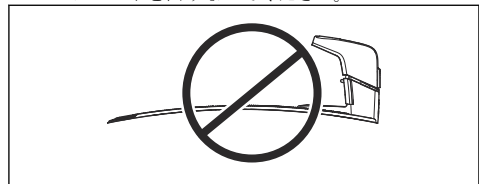
3.6 チャージステーションの設置準備

チャージステーションを設置する前に、設置場所が以下の状態であることを確認してください。

- チャージステーションの前に 6 m (20 フィート) 以上の開けた空間がある。設置場所に生け垣や建物などの高い障害物がないことを確認してください。
- 水平な場所である。



- 平らな場所である。チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。



- チャージステーションは、作業エリアの内側または外側のどちらにも設置できます。
- クラス A の接地事故回路遮断装置 (GFCI) または最大 30 mA の漏電遮断器 (RCD) を備えた電源コンセントを使用できる。
- チャージステーションの電源装置は、日光や雨の当たらない、通気の良い場所に設置してください。
- 作業エリアに斜面がある場合、Husqvarna では、チャージステーションを作業エリアの低い場所に設置することをお勧めします。
- 作業エリアに金属性の物体が埋設されていない。

注記： 金属製の物体は、本製品がチャージステーションを検出して進入するために使用する信号に干渉する可能性があります。

⁶ オプションのアクセサリ (別売)。

3.6.1 チャージステーションを設置する方法



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。

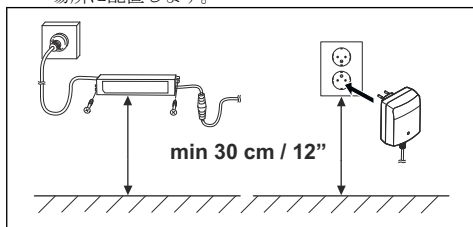


注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。



警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

1. 選択した場所にチャージステーションを置きます。
2. 付属のネジを使用してチャージステーションを地面に固定します。
3. 低電圧ケーブルをチャージステーションと電源装置に接続します。
4. 電源装置は、高さが 30 cm (12 インチ) 以上ある場所に配置します。



5. 電源装置を 100~240V の電源コンセントに接続します。
6. チャージステーションの LED インジケータが点灯していることを確認します。
7. ケーブルをペグで地面に固定するか、または地中に埋めます。

3.6.2 本製品の充電

1. 本製品をチャージステーションに入れます。本製品の front と rear がまっすぐになっていることを確認します。この位置合わせにより、本製品がチャージステーションから直線と出発できます。

注記： 本製品がチャージステーションに入ると、自動的に充電が開始されます。

3.6.3 リファレンスステーションの設置

Husqvarna® Cloud 経由で EPOS™ を利用することができず、リファレンスステーションを使用する場合は、リファレンスステーションの取扱説明書の指示に従って、リファレンスステーションを設置してください。

3.6.4 Automower® Connect アプリとのペアリング操作

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントにサインアップし、指示に従います。
3. 工場出荷時の PIN コード 1234 を本製品に入力します。
4. お使いのモバイルデバイスで Bluetooth® を有効にします。
5. 本製品の Bluetooth® ボタンを押します。
6. Automower® Connect アプリで [My mowers (登録した芝刈機)] を選択し、本製品を追加します。
7. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

注記： Husqvarna は、工場出荷時の PIN コードをアプリで新しい PIN コードに変更することをお勧めします。

3.6.5 地図オブジェクトの設置

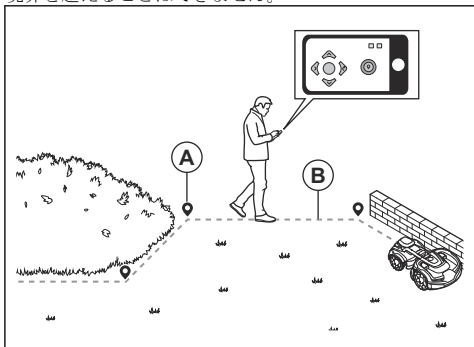
地図オブジェクトの設置は、Automower® Connect アプリで行います。[Map (地図)]、プラス記号の順に選択して、地図上に各種の地図オブジェクトを設置します。

3.6.5.1 appDrive

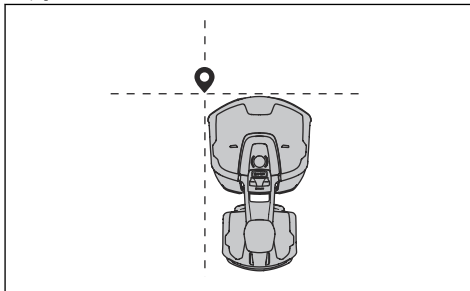
地図上にオブジェクトを設置するには、appDrive 機能で本製品を操作し、地図上に通過点を追加します。

3.6.5.2 通過点

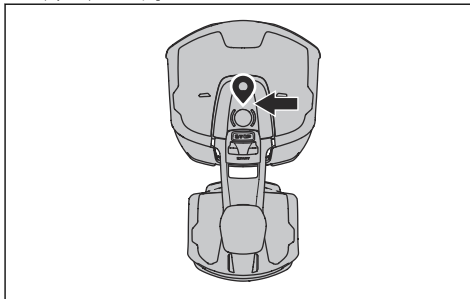
通過点 (A) とは、仮想境界と経路 (B) を作成する位置です。通過点を設置した後、アプリで追加、削除、変更できます。Husqvarna では、通過点の数を少なくすることをお勧めします。各通過点間の線は直線です。滑らかな曲線にするには、複数の通過点を使用します。Husqvarna では、各通過点間の距離を 30 cm (1 フィート) 以上で設置することをお勧めします。本製品は仮想境界を越えることはできません。



注記： 作業エリアまたは進入制限ゾーンを設置するときのウェイポイントの位置は、本製品の左前隅になります。



注記： 輸送経路またはメンテナンスポイントへの経路を設置するときの通過点の位置は、本製品の駆動ホイール間の中心です。



3.6.5.3 ドッキングポイント

チャージステーション前部にはドッキングポイントがあります。これは、本製品がチャージステーションとの間を移動するために使用されます。ドッキングポイントでは、上空に遮るものがない視野を確保する必要があります。ドッキングポイントが作業エリア外にある場合は、ドッキングポイントから作業エリアまで輸送経路を設置します。輸送経路 17 ページを参照してください。

ドッキングポイントは、チャージステーションから 70～250 cm (28～98 インチ) の位置に設置します。

注記： 後退距離が短いと、わだちができるリスクが減少します。ドッキングポイントで良好な衛星信号を受信するには、後退距離を長くする必要がある場合があります。

3.6.5.4 作業面積

作業エリアは、仮想境界で形成されます。作業エリアとは、本製品が移動して芝を刈るエリアのことです。作業エリアを作成すると、本製品は appDrive により作業エリアの境界周囲を時計方向に移動し、途中に通過点が設定されます。

3.6.5.5 進入制限ゾーン

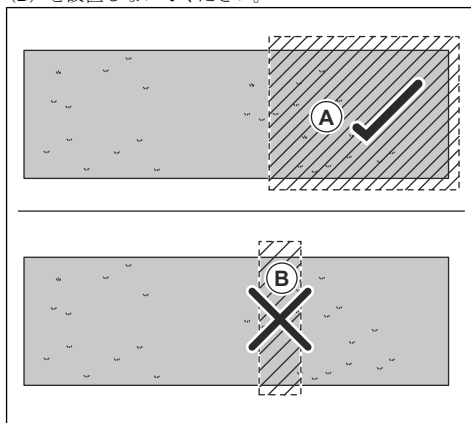
進入制限ゾーンとは、本製品が進入できないエリアのことです。進入制限ゾーンを設置すると、本製品は appDrive により進入制限ゾーンの境界周囲を反時計方向に移動し、途中に通過点が設定されます。

次のような場所や状況では、進入制限ゾーンを設置することをお勧めします。

- 樹木や根、石など、あらゆる障害物の周囲。
- 作業エリアに 70% を超える斜面が含まれないようにする。
- 2×2 m (6.6×6.6 フィート) を超える物体の周囲に設置して、本製品の移動性を改善する。

進入制限ゾーンは、30×30 cm (1×1 フィート) 以上にする必要があります。進入制限ゾーンには、本製品が進入できないエリア全体 (A) を含める必要があります。

注記： 本製品を作業エリアの他の場所に進入させないために、作業エリアを横断するように進入制限ゾーン (B) を設置しないでください。



3.6.5.6 輸送経路

作業エリアにドッキングポイントがない場合は、輸送経路を使用します。輸送経路とは、ドッキングポイントと作業エリア間の経路のことです。輸送経路を移動する間、本製品は芝刈りを行いません。

輸送経路の幅は、2～5 m (6.6～16.4 フィート) の範囲で設定できます。進入制限ゾーンを横断するように輸送経路を設置しないでください。

3.6.5.7 メンテナンスポイント

メンテナンスポイントとは、本製品を駐車するために指定するポイントです。このポイントにはドッキングポイントへの経路も含まれます。まずメンテナンスポイントを設置してから、メンテナンスポイントからドッキングポイントまでの経路を作成します。

経路幅は、2～5 m (6.6～16.4 フィート) の範囲で設定できます。進入制限ゾーンを横断するように経路を設置しないでください。

4 境界ワイヤーを使用した設置

4.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

4.2 設置用の主要部品

設置には次の部品が必要です。

- ・ 芝生を自動的に刈るロボット芝刈機。
- ・ チャージステーションには、次の 3 種類の機能があります。
 - ・ 境界ワイヤーに沿って制御信号を送信します。
 - ・ ガイドワイヤーに沿って制御信号を送信することで、本製品がガイドワイヤーに従って庭の特定の離れた場所まで移動し、そこからチャージステーションまで戻る道のりがわかるようになります。
 - ・ 本製品を充電します。
- ・ チャージステーションおよび 100V～240V コンセントと接続した電源。
- ・ ループワイヤーは、作業エリアや、物体や樹木の周りなど、本製品が避けるべき場所に敷設します。ループワイヤーは、境界ワイヤーとガイドワイヤーの両方に使用されます。

4.3 設置準備



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。



注意： 設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。

- ・ 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。こうすることで、チャージステーション、リファレンスステーション、仮想境界の設置位置の検討が容易になります。
- ・ 青写真に、チャージステーション、リファレンスステーション、メンテナンスポイント、輸送経路、作

業エリアと進入制限ゾーンの仮想境界を設置する場所をマークします。

- ・ 芝生の穴を埋めて水平にします。
- ・ 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 10 cm / 4 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

4.4 ワイヤーを設置する前に

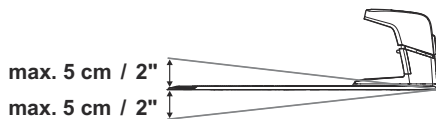
ワイヤーの設置には、ペグを使用するか、または地中に埋めるか、どちらかの方法を選択することができます。同じ作業エリア内で、2 種類の方法を使用することもできます。



注意： 作業エリアでデサッチャーを使用する場合は、境界ワイヤーとガイドワイヤーの損傷を避けるためにワイヤーを地下に埋設してください。

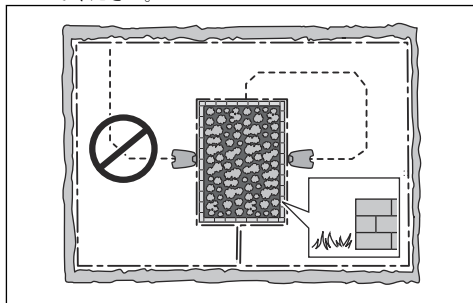
4.4.1 チャージステーションの設置場所について

- ・ チャージステーションの前には、3 m / 10 フィート以上の空きスペースを確保してください。
- ・ チャージステーションの左右には、1.5 m / 5 フィート以上の空きスペースを確保してください。
- ・ チャージステーションは、電源コンセントの近くに設置してください。
- ・ チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- ・ チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。



- ・ チャージステーションは、作業エリア内で最も広く、障害物のない場所に設置してください。

- チャージステーションは、散水システムのない場所に設置してください。
- チャージステーションは、日光から保護されている場所に設置してください。
- チャージステーションをアイランドに設置する場合は、ガイドワイヤーをアイランドに接続してください。アイランドを作る方法 21 ページを参照してください。



4.4.2 電源装置の取り付け場所について



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。

- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

4.4.3 境界ワイヤーの敷設場所について



注意： 境界ワイヤーと水域、斜面、崖、公道の間に 15 cm / 6 インチ以上の高さの保護壁を設ける必要があります。これは本製品の損傷を防ぐためです。



注意： 本製品を砂利の上で使用しないでください。



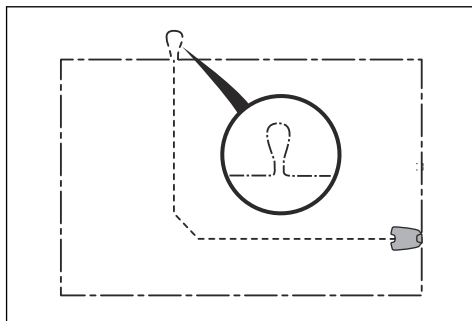
注意： 境界ワイヤーを敷設する際にワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



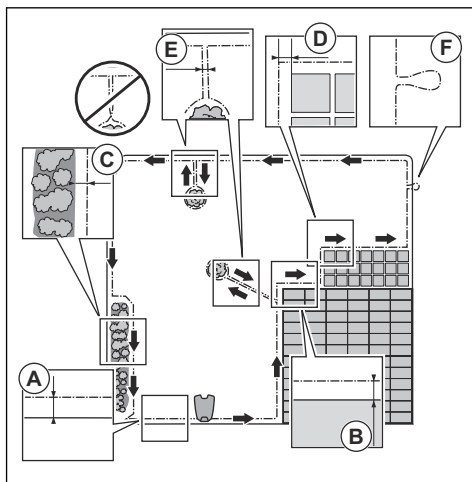
注意： 動作時の異音を防ぐために、樹木、根、石などの障害物をすべて取り除いてください。

境界ワイヤーは作業エリアをひと続きに囲むように敷設する必要があります。本製品が境界ワイヤーに近づいたことを内蔵センサーが感知すると、本製品は別の方向を選択します。作業エリアのすべての部分は、境界ワイヤーから 35 m / 115 フィート以内である必要があります。

ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を容易にするため、ガイドワイヤーを接続する場所にアイレットを設置することをお勧めします。境界ワイヤーの約 20 cm / 8 インチの部分にアイレットを設置します。

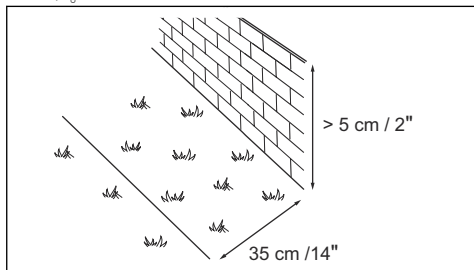


注記： 境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設する前に、作業エリアの設置図を作成してください。

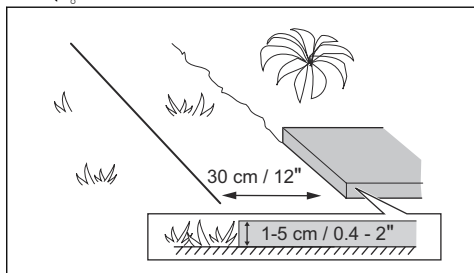


- 境界ワイヤーを作業エリア全体 (A) の周囲に敷設します。境界ワイヤーと各障害物との距離を調整します。

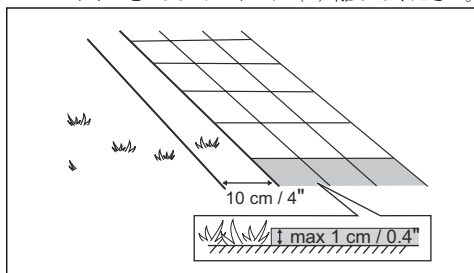
- 高さが 5 cm / 2 インチを超える障害物からは、境界ワイヤーを 35 cm / 14 インチ (B) 離してください。



- 高さが 1-5 cm / 0.4-2 インチの障害物からは、境界ワイヤーを 30 cm / 12 インチ (C) 離してください。



- 高さが 1 cm / 0.4 インチ未満の障害物からは、境界ワイヤーを 10 cm / 4 インチ (D) 離してください。



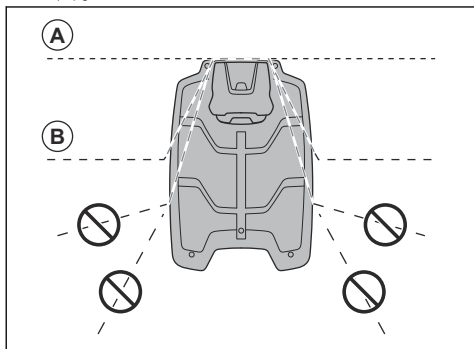
- 芝生と同じ高さの敷石道がある場合は、境界ワイヤーを敷石の下に敷設してください。

注記： 敷石の幅が 30 cm / 12 インチ以上の場合、敷石に隣接する芝をすべて刈るには、*Drive Past Wire* (ワイヤーを通過) 機能を工場出荷時の設定にして使用します。参照：ワイヤー通過運転 29 ページ。

- アイランドを作る場合は、アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本を隣接して (E) 敷設します。この 2 本のワイヤーは、同じペグに入れてください。参照：アイランドを作る方法 21 ページ。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する位置に、アイレット (F) を作成します。

4.4.4 境界ワイヤーをチャージステーションの周囲に配置する方法の検討

- Husqvarna では、境界ワイヤーをチャージステーションからまっすぐに配置することをお勧めします (A)。

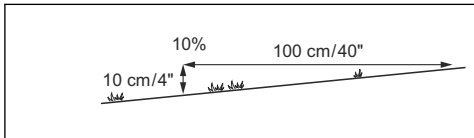


- 必要な場合、境界ワイヤーをチャージステーションの下に斜めに配置できます (B)。

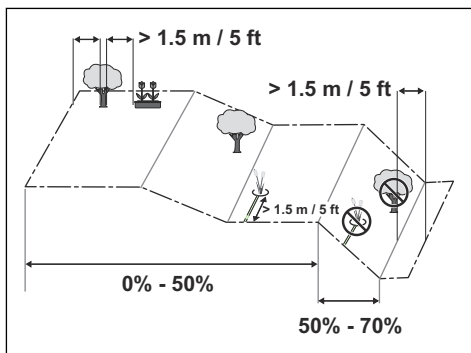
注記： 境界ワイヤーをチャージステーションの下から離れた位置には配置しないでください。本製品は、チャージステーションを見つけて入ることが難しいかどうかを判断できます。

4.4.4.1 境界ワイヤーを斜面に設置する方法

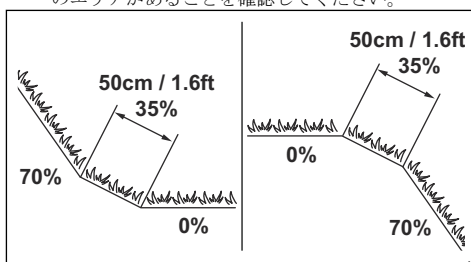
本製品は 70% 斜面でも動作します。70% を超える斜面は、境界ワイヤーで隔離する必要があります。勾配 (%) は、1 メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



- 本製品は、作業エリアの最大 50% の斜面で通常どおり動作します。境界ワイヤーと障害物の間、または障害物どうしの間の距離を 1.5 に保ってください。
- 50-70% の斜面の場合は、斜面に障害物がないことを確認してください。勾配の底から境界ワイヤーまで、1.5 m/5 フィートの距離が必要です。



- 平坦な地面と急な斜面の間に 50 cm / 1.6 フィートのエリアがあることを確認してください。



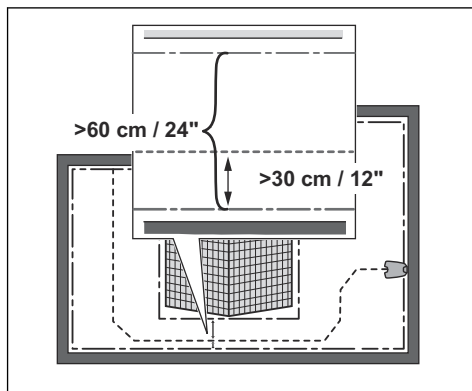
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁に 15 cm / 6 インチ以上の保護壁を設置してください。壁やフェンスを保護壁として使用することができます。

4.4.4.2 経路

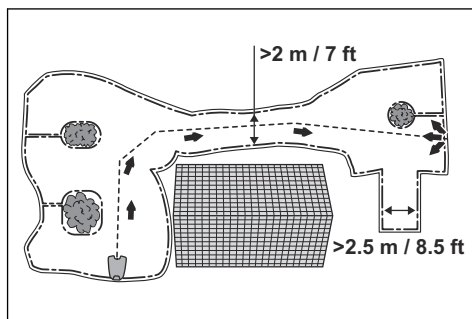
経路とは、2 つの作業エリアを接続する、両側に境界ワイヤーが設けられたセクションです。良好な芝刈り結果を得るには、経路が 2 m / 6.5 フィート幅以上である必要があります。ガイドワイヤーが経路全体に敷設されている場合、短い経路は 60 cm / 2 フィートまで狭めることができます。長く狭い経路は、芝刈り結果に悪影響を与える可能性があります。

注記： 経路の幅が 2 m / 6.5 フィート未満の場合は、その経路内にガイドワイヤーを通してください。

本製品は、チャージステーションを正面から見た場合、常にガイド用ワイヤーの左側を走ります。ガイドワイヤーと境界ワイヤーの間の距離について、ガイドワイヤーは右の境界ワイヤーから経路の合計幅の 1/3 を離し、経路の左側から合計幅の 2/3 の位置に敷設することをお勧めします (A)。ガイドワイヤーと境界ワイヤー間の最小距離は 30 cm / 12 インチです。



行き止まり部の幅は、2.5 m / 8.5 フィート以上にする必要があります。



4.4.4.3 アイランドを作る方法



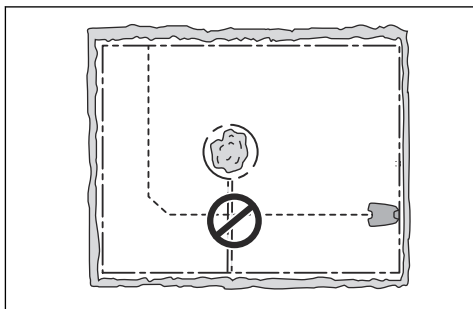
注意： 境界ワイヤー同士を交差させないでください。2 本の境界ワイヤーは平行でなければなりません。



注意： ガイドワイヤーと境界ワイヤーを交差させないでください。



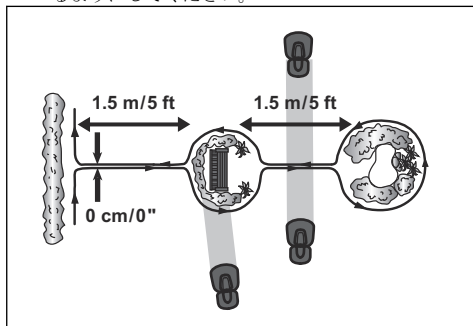
注意： 高さ 15 cm / 6 インチ未満の障害物を隔離するか、取り除いてください。石、木、木の根など、わずかに傾斜している障害物を隔離するか、取り除いてください。これは本製品のブレードの損傷を防ぐためです。



アイランドを作るには、境界ワイヤーで作業エリアの一部を隔離します。作業エリア内のすべての障害物を隔離することをお勧めします。

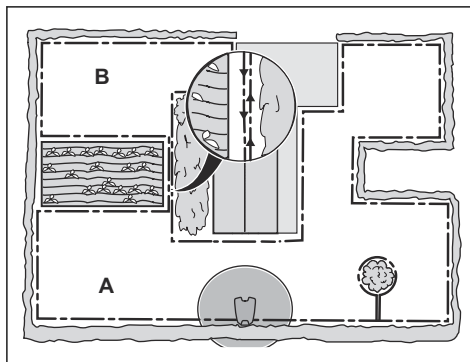
高さ 15 cm/6 インチ以上の木や茂みなど、一部の障害物は衝突に耐えます。本製品はこのような障害物に衝突して新しい方向を選択します。

- 障害物の周りに境界ワイヤーを敷設して、アイランドを作ります。
- アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本は、互いに近づけて設置してください。これにより、本製品はワイヤーを横断します。
- この 2 本の境界ワイヤーは、同じベグに入れてください。
- 障害物の前に、少なくとも 1.5 の空きスペースがあるようにしてください。



4.4.4.4 セカンダリエリアを作成する方法

作業エリアに、経路でつながっていない 2 つのエリアがある場合は、セカンダリエリア (B) を作成します。チャージステーションのある作業エリアが、メインエリア (A) です。



注記： メインエリアとセカンダリエリア間は、本製品を手動で移動させる必要があります。

- 境界ワイヤーをセカンダリエリア (B) の周りに敷設して、アイランドを作ります。アイランドを作る方法 21 ページを参照してください。

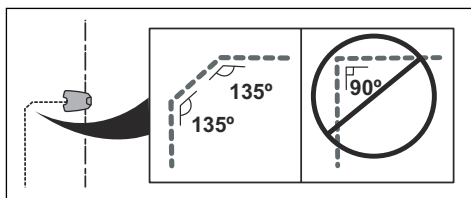
注記： 境界ワイヤーは作業エリア全体 (A + B) をひとつのループとして囲むように敷設する必要があります。

注記： セカンダリエリアで芝を刈る場合は、[Secondary area (セカンダリエリア)] モードを選択する必要があります。セカンダリエリア 33 ページを参照してください。

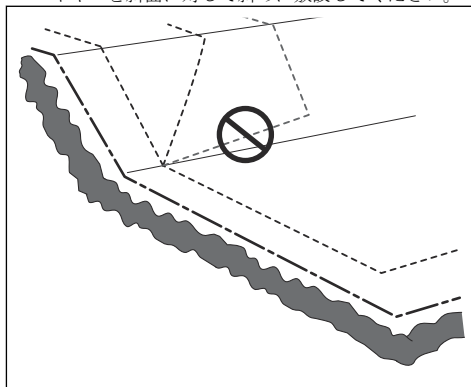
4.4.5 ガイドワイヤーの敷設場所について

チャージステーションのガイドワイヤーは作業エリアを通過して境界ワイヤーに接続します。本製品には、ガイドワイヤーが 2 本あります。ガイドワイヤーはすべて、以下の方法と同様に敷設してください。

- チャージステーションの前から最低 2 m / 7 フィート空けて、ガイドワイヤーをまっすぐに敷設します。
- チャージステーションに向かって、ガイドワイヤーの左側にできるだけ多くの空きスペースがあるようにしてください。
- ガイドワイヤーは、境界ワイヤーから 30 cm / 12 インチ以上離してください。
- ガイドワイヤーを取り付けるときは、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



- 作業エリアに斜面がある場合は、ガイドワイヤーを斜面の下から斜面の上までまっすぐに敷設してください。まっすぐに敷設できない場合は、ガイドワイヤーを斜面に対して斜めに敷設してください。

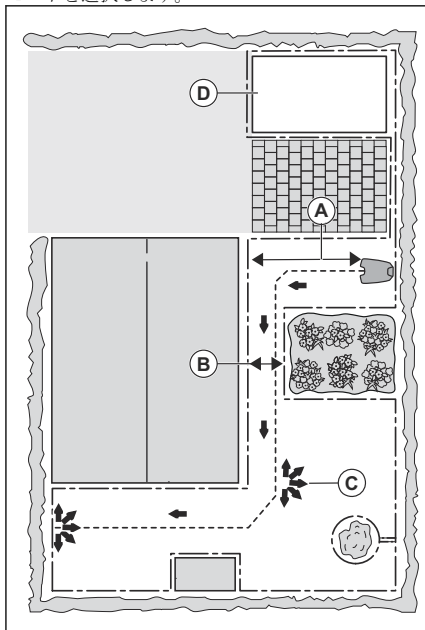


注意： 図に示すように、ガイドワイヤーを斜面と平行にしないでください。このように設置すると、芝の傷みが激しくなるおそれがあります。

4.4.6 作業エリアの例

- チャージステーションが狭いエリア (A) に設置されている場合は、チャージステーションの前から境界ワイヤーまでの距離が **3 m / 10 フィート** 以上あることを確認してください。
- 作業エリアにガイドワイヤーを敷設していない経路 (B) がある場合は、境界ワイヤーの距離を **2 m / 6.5 フィート** 以上空けることをお勧めします。経路にガイドワイヤーが敷設されている場合は、境界ワイヤーの距離を **60 cm / 24 インチ** 以上空けることをお勧めします。
- 狭い通路 (B) でつながつたエリアが作業エリアにある場合は、最初はガイドワイヤーに沿い、一定の距離 (C) を通過したらガイドワイヤーから離れるように本製品を設定できます。設定は**芝生範囲 29** ページで変更できます。
- 本製品に搭載された **GPS アシストナビゲーション** は、運転の最適化に役立ちます。**芝生範囲 29** ページを参照してください。
- 作業領域にセカンダリエリア (D) が含まれている場合は、**セカンダリエリアを作成する方法 22** ページ

ジを参照してください。本製品をセカンダリエリアに置き、**[Secondary area (セカンダリエリア)]** モードを選択します。



4.5 本製品の設置

4.5.1 設置ツール

- ハンマー／プラスチックハンマー：杭を簡単に地面に打ち込むことができます。
- エッジカッター／まっすぐな鋤：境界ワイヤーを埋設します。
- コンビネーションプライヤー：境界ワイヤーを切断し、コネクターを圧着します。
- アジャスタブルプライヤー：カブラーを圧着します。

4.5.2 チャージステーションを設置する方法



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。

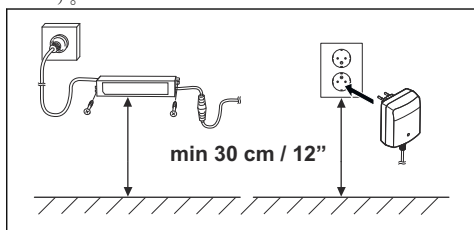


警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

1. 選択した場所にチャージステーションを置きます。

注記： ガイドワイヤーを取り付けるまで、ネジを使用してチャージステーションを地面に設置しないでください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 24 ページを参照してください。

2. 低電圧ケーブルをチャージステーションと電源装置に接続します。
3. 電源装置を 30 cm / 12 インチ以上の高さに置きます。



4. 電源装置を 100~240V の電源コンセントに接続します。
5. ケーブルをペグで地面に固定するか、または地中に埋めます。「ペグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する 25 ページ」または「ワイヤーまたはケーブルを埋設する 25 ページ」を参照してください。
6. ガイドワイヤーを取り付けた後、付属のネジを使用してチャージステーションを地面に設置します。メンテナンスのための安全注意事項 5 ページを参照してください。

4.5.3 本製品の充電

1. 本製品をチャージステーションに入れます。本製品の front と rear がまっすぐになっていることを確認します。この位置合わせにより、本製品がチャージステーションから直線出発できます。

注記： 本製品がチャージステーションに入ると、自動的に充電が開始されます。

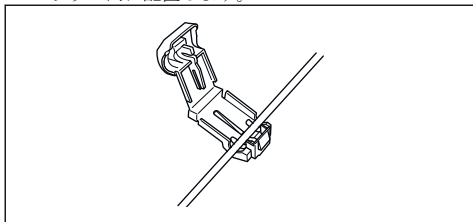
4.5.4 境界ワイヤーを取り付ける方法



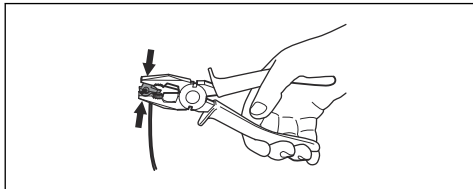
注意： 余ったワイヤーをコイル内に入れないでください。コイルが本製品に対する干渉を起こす場合があります。

1. 作業エリア全体の周囲に境界ワイヤーを設置します。この設置は、チャージステーションの後ろ側から始め、そこで終了するようにしてください。

2. コネクターを開き、境界ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。



3. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。



4. この境界ワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
5. 境界ワイヤーの右側の端を、「AR」というマークの付いたチャンネルに入れます。
6. 境界ワイヤーの左側の端を、「AL」というマークの付いたチャンネルに入れます。
7. 右側のコネクターを、チャージステーションの「AR」というマークの付いた金属ピンに接続します。
8. 左側のコネクターを、チャージステーションの「AL」というマークの付いた金属ピンに接続します。
9. 左右の境界ワイヤーにケーブルマークを付けます。チャージステーションの上を歩かないでください。

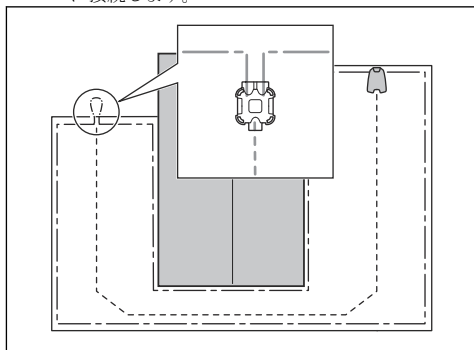
4.5.5 ガイドワイヤーを取り付ける方法



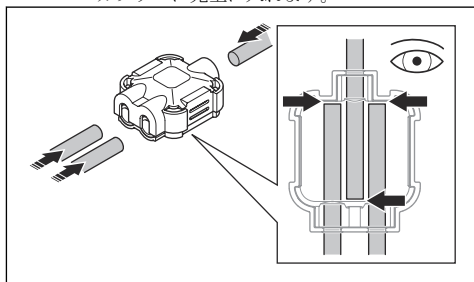
注意： ツインケーブルや絶縁テープで絶縁されたネジ式端子ブロックは、満足のいく接合ではありません。土に含まれる湿気でワイヤーが酸化し、一定期間が経過すると回路が損傷します。

1. コネクターを開き、ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。
2. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。
3. ガイドワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
4. ガイドワイヤーを押してチャージステーションプレートのスロットに通します。
5. コネクターを、チャージステーションの「G1, G2, G3」というマークの付いた金属ピンに接続します。
6. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。

7. ガイドワイヤーの端を、境界ワイヤーのアイレットに置きます。
8. ワイヤークッターを使用して、境界ワイヤーを切断します。
9. カブラーを使用して、ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続します。

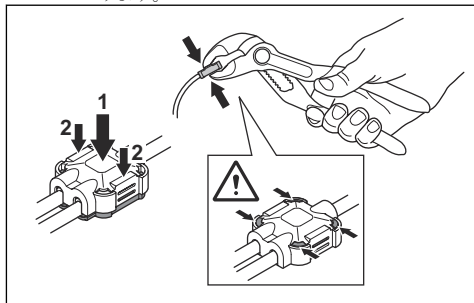


- a) 境界ワイヤーの両端とガイドワイヤーの端をカブラーに完全に入れます。



注記： 正しく設置するため、ワイヤーがカブラーに完全に入っていることを確認してください。

- b) アジャスタブルプライヤーでカブラーのカバーを押し下げてカブラーにワイヤーを取り付けます。



10. ガイドワイヤーをペグで地面に取り付けるか、または地中に埋めます。「ペグを使ってワイヤーまたは

ケーブルを所定の位置に固定する 25 ページ」または「ワイヤーまたはケーブルを埋設する 25 ページ」を参照してください。

11. チャージステーションを電源に接続します。

4.5.6 ペグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する



注意： ペグがワイヤーまたはケーブルを保持して地面に固定されていることを確認します。



注意： 設置直後に芝生を短く刈り込み過ぎると、ワイヤーまたはケーブルの絶縁を損傷するおそれがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。

1. ワイヤーまたはケーブルを地面に配置します。
2. ペグを、75 cm / 30 インチ以下の間隔をあけて置きます。
3. ハンマーまたはプラスチックハンマーで、ペグを地面に打ち込みます。

注記： 数週間後には、このワイヤーまたはケーブルは芝で覆われて見えなくなります。

4.5.7 ワイヤーまたはケーブルを埋設する

- エッジカッターまたはストレートシャベルで、地面に溝を切ります。
- 1-20 cm/0.4-8 インチの深さでワイヤーまたはケーブルを埋設します。

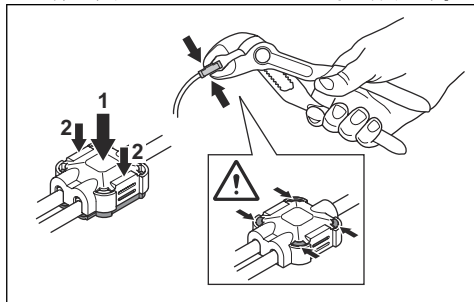
4.5.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーが作業エリアに対して短すぎる場合は、延長します。カブラーなどの予備部品は、純正部品を使用してください。

1. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
2. 延長用カブラーを取り付ける必要がある場所では、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーをワイヤークッターで切断します。
3. 延長用カブラーを取り付ける必要がある場所に、延長用のワイヤーを追加します。
4. 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
5. ワイヤーの端部をカブラー内に入れます。

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーの端がカプラーの透明部分を通っていることを確認します。

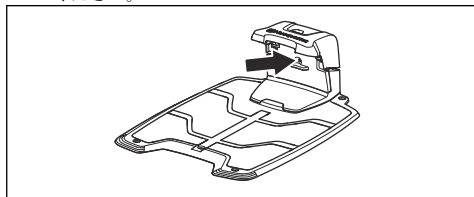
6. アジャスタブルブライヤーでカプラーのカバーを押し下げてカプラーにワイヤーを取り付けます。



7. ベグを使って、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
8. チャージステーションを電源に接続します。

4.5.9 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。LED インジケータの詳細については、「チャージステーションの LED インジケータ 50 ページ」を参照してください。



2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。チャージステーションの LED インジケータ 50 ページおよびチャージステーションを設置する方法 23 ページを参照してください。

4.5.10 Automower® Connect アプリとのペアリング操作

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントにサインアップし、指示に従います。
3. 工場出荷時の PIN コード 1234 を本製品に入力します。

4. 本製品のジョグホイールを使用して Bluetooth® メニューを選択し、ペアリング操作モードを有効にします。
5. Automower® Connect アプリで [My mowers (登録した芝刈機)] を選択し、本製品を追加します。
6. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

注記： Husqvarna は、工場出荷時の PIN コードをアプリで新しい PIN コードに変更することをお勧めします。

5 設定

本製品は工場出荷時に設定されていますが、設定は各作業エリアに合わせて変更できます。

5.1 スケジュール



[Schedule (スケジュール)] で、本製品のスケジュール設定を変更できます。

スケジュールツールは、作業エリアの面積に合わせてスケジュールを調整します。[Schedule (スケジュール)] 機能により、本製品の稼働時間を制御します。本製品は、稼働していないときはチャージステーションに駐車します。アプリのスケジュール概要で、製品が稼働する日時を確認できます。

5.1.1 システムチック芝刈りのスケジュールの設定方法

- 製品ができるだけ長時間稼働するようにスケジュールを設定します。

注記： 作業エリア全体の芝刈りを終了後、本製品はチャージステーションに戻ります。次のセッションが開始されると、本製品は再び作業エリア全体を芝刈りします。

注記： セッションを終了する前に本製品が作業エリア全体を刈れなかった場合は、チャージステーションに戻ります。次のセッションが開始されると、本製品は停止した場所から芝刈りを続行します。

- スケジュールを 2 つ設定して、作業エリアの芝刈りを 1 日に 2 回行うこともできます。作業エリア全体の芝刈りを行うために十分な時間が確保されるよう製品のスケジュールを設定します。
- 2 つ以上のスケジュールを平行して設定すると、長い間芝刈りを行っていない場所から芝刈りを開始します。
- 本製品が各作業エリアの芝刈りを 24 時間以内に完了しているか確認してください。本製品が作業エリアの芝刈りを 24 時間以上する必要がある場合は、作業エリアをより狭い作業エリアに分割します。

5.1.2 不規則な芝刈りスケジュールの設定方法

本製品は、スケジュールされた時間すべてで不規則な芝刈りを行います。

- 運転時間を短くするか、天候タイマー機能を使用して芝の損耗を防止します。天候タイマー 28 ページを参照してください。
- 刈り込みの仕上がりが不十分な場合は、運転時間を長くしてください。スケジュール 27 ページを参照してください。
- 異なる作業エリアに平行して 2 つ以上のスケジュールを設定している場合、製品は最初に 1 つの作業エリアの芝刈りを開始します。製品を充電するたびに、別の作業エリアの芝刈りを開始します。

5.2 刈高



5.2.1 刈高調整

刈高は、作業エリアごとに個別に設定します。

刈高は、3-7 cm/1.2-2.8 インチに設定できます。



注意： 新規設置後の最初の数週間は、ロープライヤーを損傷しないように、刈高を 7 cm/2.8 インチに設定する必要があります。その後、毎週刈高を下げるができます。

5.2.2 TargetHeight

TargetHeight 機能を使用すると、10 日間の間に、刈高が最高値から指定された刈高に徐々に下がります。この期間中に手動で刈高を変更すると、TargetHeight 機能が無効化されます。

5.3 パターン



EPOS™ による設置の場合は、各作業エリアの芝刈りパターンを設定できます。次の設定が可能です。

- 製品の動作パターンを設定します。
- パターンによっては、方向の設定が可能です。
- パターンによっては、境界の芝刈りの種類を設定できます。固定境界の芝刈りでは、製品は常に同じ経路で動作し、作業領域の周囲にシャープな境界線を維持します。可変境界芝刈りでは、仮想境界に沿ってわだちが残りにくくなるように、異なる経路で芝を刈ります。

Husqvarna では、広い作業エリアや開放的な作業エリアの作業には、規則的なパターンの使用をお勧めしています。

す。障害物のある作業エリアで規則的なパターンを使用する場合は、障害物の周囲に進入制限ゾーンを設け、可能な限り仕上がりが良好になるよう多方向に芝刈りを行うパターンを使用します。

Husqvarna では、作業エリアが複雑な場合や障害物が多い場合、または急斜面を含む場合に、不規則なパターンの使用をお勧めしています。

5.4 操作



[Operation (操作)] では、本製品の動作設定を変更できます。

5.4.1 障害物回避

[Object avoidance (障害物回避)] 機能により、本製品は、障害物に近づくとき速度を下げ、衝突を回避します。

注記： このため、障害物の周囲の芝が刈られなくなることがあります。この機能が原因で、背の高い芝を本製品が十分に切断できなくなることがあります。

5.4.2 天候タイマー

天候タイマーにより、芝の成長具合に合わせて芝刈り時間が自動的に調整されます。天候タイマーは、不規則なパターンを使用する作業エリアでのみ芝刈り時間を調整します。本製品は、スケジュール設定より長く運転することはできません。

注記： 天候タイマーを使用する場合、天候タイマーの運転時間をできる限り長くすることをお勧めします。必要以上にスケジュールを制限しないでください。

1 日の最初の動作は、スケジュール設定で設定します。本製品は、スケジュールを設定した作業エリアごとに 1 回の芝刈りサイクルを完了し、天候タイマーが、引き続き芝刈りを行うかどうかを選択します。

注記： 製品を 50 時間以上動かしていない場合、またはすべてのユーザー設定をリセットした場合は、天候タイマーがリセットされます。スケジュール設定のリセットが行われても、天候タイマーは変更されません。

5.4.3 ECO モード

[ECO mode (ECO モード)] では、本製品の駐車中や充電中に、境界ワイヤー、ガイドワイヤー、チャージステーションの信号が無効になります。ループ信号が無効になっている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色に点滅します。

注記： [ECO mode (ECO モード)] は、電力を節約し、ヒアリングループやガレージドアなど、他の機器との干渉を防止するために使用します。

注記： 作業エリア内で本製品を手動で始動するには、最初にループ信号を有効にする必要があります。

5.4.3.1 ループ信号の有効化

1. 本製品をオンにします。
2. 本製品をチャージステーションに入れます。
3. **STOP** ボタンを押します。
4. 2 秒待ってから、本製品をチャージステーションから取り外します。
5. チャージステーションの LED インジケータが緑色に点灯していることを確認します。
6. 芝刈りを開始する位置に本製品を置きます。

5.5 設置の設定



設置では、境界ワイヤーを使用した設置の設定を変更できます。

5.5.1 チャージステーションの探索

本製品は、3 種類の方法でチャージステーションを探そう設定できます。

- チャージステーションの信号
- 境界ワイヤーに沿う
- ガイドワイヤーに沿う

工場出荷時には、この 3 つの検索方法を同時に使用するように設定されています。工場出荷時の設定を使用した場合、可能な限り早くチャージステーションを見つけることができるとともに、芝生の上にわだちができるリスクが最小限になります。本製品は常にチャージステーションの信号の検索から開始します。指定された間隔の後には、ガイドに沿うと境界ワイヤーに沿うも使用します。

本製品がワイヤーに追従できない原因は次のとおりです。

- ワイヤーの近くの障害物が隔離されていない。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーがチャージステーションの設置場所について 18 ページ、境界ワイヤーの敷設場所について 19 ページ、ガイドワイヤーの敷設場所について 22 ページの指示に従って設置されていない。

5.5.1.1 チャージステーションの信号

設置場所によっては、チャージステーションの信号強度を下げる必要があります。たとえば、チャージステーション

ョンが低木や壁などの障害物の近くに置かれている場合などです。本製品は、障害物の反対側にあるチャージステーション信号を検出し、チャージステーションを探しますが、障害物がチャージステーションへの移動を妨げます。チャージステーション信号を *[min (最小)]*、*[avg (平均)]*、*[max (最大)]* に設定できます。

注記： Husqvarna では、チャージステーション信号を *[max (最大)]* に設定することをお勧めします。通常、チャージステーションの信号到達範囲を狭めるよりも、チャージステーションを移動する方が良い方法です。

5.5.1.2 ガイドワイヤーと境界ワイヤーの追従

本製品が境界ワイヤーとガイドワイヤーを追従してチャージステーションの検知を開始するタイミングに関する時間間隔を設定できます。

5.5.2 芝生範囲

本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、運転の最適化に役立ちます。

[Lawn coverage (芝生範囲)] 機能を使用して、手動設定にします。

注記： GPS アシストナビゲーションを有効化すると、GPS サービスがある場合にナビゲーションがオンになります。GPS サービスが利用できない場合、本製品は動作の手動設定を使用します。

5.5.2.1 芝生範囲機能の設定

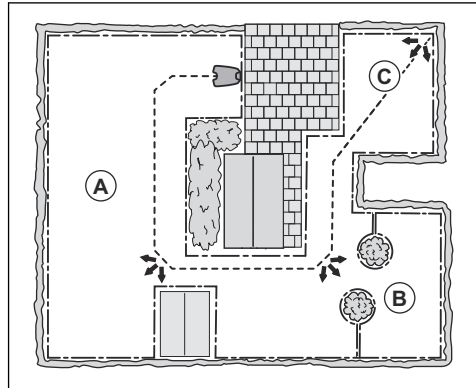
本製品が作業エリア内の離れた部分を芝刈りできるように、*[Lawn coverage (芝生範囲)]* 機能を使用します。狭い通路で接続している離れた部分が作業エリアに含まれる場合、十分に刈られた作業エリアを保持するために、*[Lawn coverage (芝生範囲)]* 機能を使用します。本製品が芝刈りをスタートする遠隔エリアを最大 5 つまで設定できます。

本製品は最初に、指定された距離になるまでガイドワイヤーに沿って走行し、作業エリアで芝刈りを開始します。

エリア A、約 50%

エリア B、約 30%

エリア C、約 20%



エリアごとに有効または無効にできます。*[Test (テスト)]* 機能を使用して、チャージステーションから製品が芝刈りを開始する必要がある地点までの距離を測定します。

デフォルト設定では、本製品はチャージステーションを離れる回数のうち 20% の割合でガイドワイヤーに 300 m/980 フィート追従します。ガイドワイヤーが 300 m / 980 フィートより短い場合、本製品は、ガイドワイヤーと境界ワイヤーが接続する地点までワイヤーに沿って進みます。

5.5.3 ワイヤー通過運転

本製品のフロント部は常に、境界ワイヤーとの間に指定されている距離を保って移動し、その距離まで近づくと、作業エリア内へ戻っていきます。*[Drive past wire (ワイヤーを通過)]* 機能の工場出荷時設定は 31 cm/13 インチです。20-50 cm/8-15 インチの範囲で距離を選択できます。

注記： 工場出荷時の設定では、本製品はワイヤーを通過して 11 cm/4.3 インチ刈ります。

注記： *[Drive Past Wire (ワイヤーを通過)]* の距離が変更されると、作業エリア内にあるすべての境界ワイヤーについて距離が変更されます。

5.5.4 スタート地点

[Starting point (スタート地点)] 機能を使用すると、本製品が動作を開始する前にチャージステーションからどの程度前進するかを設定できます。この機能は、スペースが限られたエリアにチャージステーションを設置する場合に使用します。

注記： スタート地点は、チャージステーションの前方からガイドワイヤーまでの距離よりも近くに設定してください。ガイドワイヤーの敷設場所について 22 ページを参照してください。

5.6 アクセサリー



[*Accessories* (アクセサリ)] では、本製品のアクセサリを設定を変更できます。

5.6.1 ヘッドライト

ヘッドライトをいつ点灯するかをコントロールする設定には、以下の 4 つがあります。

- 常時オン
- 夜のみ (19:00~00:00)
- 夜から朝 (19:00~07:00)
- 常時オフ

デフォルトの設定は [*Always on* (常時オン)] です。エラーが発生した場合は、ヘッドライトを点滅に設定できます。

5.6.2 Automower® ハウスとの衝突の回避

このオプションが有効になっている場合は、本製品と Automower® ハウスの摩耗が減りますが、チャージステーション周囲で芝を刈り取らない部分が広がります。

5.7 全般 (Bluetooth® のみ)



この機能は、日時を設定したり、デフォルトの設定にリセットしたりするために使用します。

5.7.1 Time & date (時刻 & 日付)

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

5.7.2 工場設定へのリセット

ユーザー設定は、リセットして工場出荷時の設定に戻すことができます。

注記： PIN コード、ループ信号、メッセージ、および日付と時刻はリセットされません。

5.8 セキュリティ



セキュリティ設定で、PIN コード、GeoFence、その他のセキュリティ機能を制御します。 [*Security* (セキュリティ)]

メニュー] にアクセスするには、正しい PIN コードを入力する必要があります。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合にのみ使用できます。

5.8.1 新規ループ信号

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する 2 つの装置で非常に類似した信号を使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。

5.8.2 PIN コードの変更

PIN コードは変更できます。新しい PIN コードをメモに記録します。参照：はじめに 8 ページ。

5.8.3 盗難防止

[*Theft protection* (盗難防止)] メニューで、アラーム持続時間およびアラームをトリガーするイベントを設定することができます。工場出荷時の設定では PIN コードが必要で、アラームの持続時間は 1 分です。

5.8.3.1 停止時の PIN コードの要求

これは、STOP ボタンを押した後、正しい PIN コードを入力しない限り、本製品の操作や制御ができなくなる機能です。間違った PIN コードを連続して 5 回入力すると、本製品は一時的にロックされます。新しく不正な試行が行われるたびに、ロック時間が延長されます。

5.8.3.2 アラーム持続時間

アラーム信号を持続させる時間を設定できる場合があります。1 分から 10 分の間で設定できます。

5.8.3.3 ストップボタン押下状態

アラーム「*STOP button pressed* (ストップボタン押下状態)」が有効になっている場合は、誰かが [STOP (ストップ)] ボタンを押し、その後 30 秒以内に PIN コードが入力されないと、このアラームが出されます。

5.8.3.4 持ち去り

アラーム「*Carried away* (持ち去り)」が有効になっている場合に本製品が想定外の動きを検知すると、このアラームが出されます。

5.8.4 GeoFence

GeoFence は、本製品のための仮想フェンスを作る、GPS ベースの盗難防止機能です。本製品が、中心位置から設定距離以上に離れている場合、本製品は無効化され、アラームが作動します。GeoFence が有効な場合、中心位置は本製品の現在位置に設定されます。アラームを停止して本製品を起動するには、PIN コードが必要です。本製品の電源をオンにしたときのみ、GeoFence は有効化されます。

5.9 Automower® Connect (Bluetooth®のみ)



Automower® Connect では、Automower® Connect モジュールを有効または無効にできます。また、信号強度や接続ステータスの確認、新しいペアリングの開始、ペアリングされたアカウントからの本製品の削除を行うこともできます。

5.10 メッセージ

このメニューでは、過去の障害および情報メッセージを表示できます。一部のメッセージでは、障害の是正に役立つヒントやアドバイスが表示されます。

何かに引っかかったりバッテリー残量が不足したりなど、何らかの理由で本製品に障害が発生した場合は、その障害についてのメッセージと発生時刻が保存されます。

同じメッセージが数回繰り返された場合は、設置場所または本製品に対する調整が必要であるかもしれません。境界ワイヤーを使用した設置 18 ページを参照してください。

5.11 芝刈りプロファイル

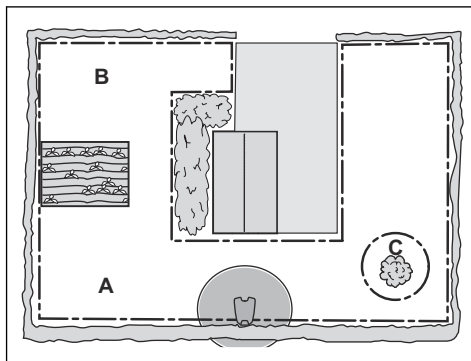
芝刈りプロファイルには、さまざまな設定を保存できます。複数の場所に 1 つの製品を使用する場合、同じ位置で異なる設定がある場合に、この機能を使用します。たとえば、1 つ目のプロファイルで境界ワイヤーを使用した設置を行い、2 つ目のプロファイルで EPOS™ を使用した設置を行うことができます。芝刈りプロファイルには、製品設定、地図オブジェクト、およびこれらの設定が保存されます。

5.12 無線ファームウェアのダウンロード(Firmware over the air FOTA)

本製品には、新しいファームウェアを自動的にダウンロードする機能があります。新しいファームウェアが利用可能になると、アプリに通知が表示され、新しいファームウェアのインストールを選択できます。工場出荷時の設定では、この機能は有効になっています。Husqvarna では、新しいファームウェアが利用可能になった際に、ファームウェアのアップデートをお勧めしています。

5.13 Automower® Intelligent Mapping (AIM)

Automower® Intelligent Mapping (AIM) は Automower® Connect アプリで使用できます。本製品のテクノロジーでは、GPS などさまざまなセンサーを使用します。マップの精度は約 1 m/3.3 フィートです。



AIM の一部の機能は次のとおりです。

- Automower® Connect アプリに、芝生のマップとチャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤー、アイランドが表示されます。
- 作業エリアごとにスケジュールと刈高を設定できる設置場所に作業エリア (A) と (B) を作成できます。
- 本製品が入れず、芝を刈ることのできない立ち入り禁止ゾーン (C) を作成できます。

注記： AIM 機能では、約 1 m/3.3 フィートの精度で、作業エリアと立ち入り禁止ゾーンを設定できます。

AIM マップのデータ収集が自動的に開始されます。本製品は、データを収集しながら動作し、マップは 1~2 週間で完成します。本製品が動作してデータを収集するときには、芝生上の動かせる障害物を取り除きます。ワイヤーまたはチャージステーションの設置場所を変更する場合は、新しいマップを作成する必要があります。Automower® Connect アプリの AIM の詳細をお読みください。

5.14 チャージステーションを地図上に再設置するには

チャージステーションを移動または交換する場合は、地図上にチャージステーションを再設置します。また、製品をチャージステーションにドッキングできない場合や、チャージステーションに接続できない場合に再設置を行うことができます。

1. アプリで、[Map objects (地図オブジェクト)] > [Charge station (チャージステーション)] の順に選択します。
2. [Reinstall charging station (チャージステーションの再設置)] を選択します。

注記： Bluetooth® が有効になっている他のデバイスが、ペアリング操作に干渉することがあります。ペアリング操作に干渉が発生する場合は、他のデバイスの Bluetooth® を無効にします。

5.15 リファレンスステーションを地図上に再設置するには

リファレンスステーションを移動または交換する場合は、リファレンスステーションを地図上に再設置します。

1. アプリで、*[Map objects (地図オブジェクト)]* > *[Reference station (リファレンスステーション)]* の順に選択します。
2. *[Reinstall reference station (リファレンスステーションの再設置)]* を選択し、指示に従います。

注記： リファレンスステーションを移動する場合、工場出荷時の状態にリセットして、すべての地図を再度インストールする必要があります。

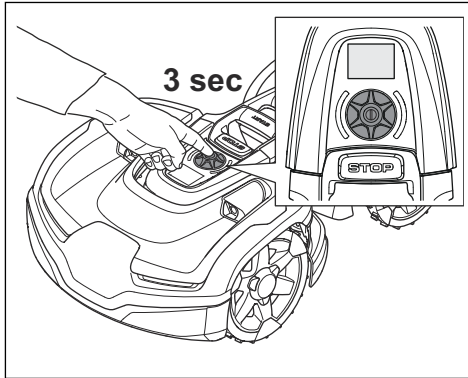
6 Operation (操作)

6.1 本製品をオンにする



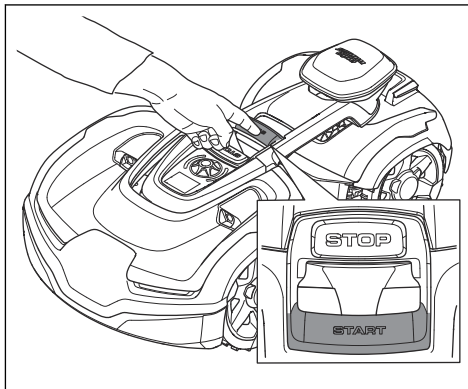
警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

1. ジョグホイールを 3 秒間押し続けます。



注記： [STOP] ボタンが押し下げられていることを確認します。STOP ボタンが押し下げられていないと、ディスプレイに STOP シンボルが表示されます。

2. 必要に応じて、ジョグホイールを使用して PIN コードを入力します。
3. 動作モードを選択し、ジョグホイールを押します。*Operation (操作) 33 ページを参照してください。*
4. [START] ボタンを押して、本製品を始動します。



バッテリーが完全に充電され、[Schedule (スケジュール)] で本製品が動作するように設定されている場合

る場合にのみ、本製品はチャージステーションから移動できます。

6.2 動作モードの [Start (開始)] を選択する

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. [Start (開始)] を選択し、次の動作モードのいずれかを選択します。[Resume Schedule (スケジュールを再開)] appDrive または [Select working area (作業エリアを選択)]。

6.2.1 スケジュールを再開

製品が、スケジュールされた作業エリアで芝刈りを継続し、自動で充電を行います。

6.2.2 作業エリアを選択

この機能を使用すると、選択した作業エリアで一時的に本製品を運転できます。不規則なパターンを使用する作業エリアでは、この機能の制限時間の選択が可能です。設定時間を経過すると、製品はスケジュールに従って動作を継続します。規則的なパターンを使用する作業エリアでは、本製品は、選択した作業エリアの芝刈りが完了するまで刈り込みを続けます。作業エリアの芝刈りが終わっても、本製品は設定されたスケジュールどおりに刈り込みを続けます。

6.2.2.1 セカンドエリア

製品をセカンドエリアで操作するには、本製品をセカンドエリアに手動で移動する必要があります。選択した期間、またはバッテリーが空になるまで、本製品は芝刈りを行います。

6.3 リモートコントロール

アプリから手動で本製品を操作するには、リモート制御を使用します。

6.3.1 リモート制御による本製品の操作

ボタンを使用して本製品を操作します。

1. STOP ボタンを押します。
2. 必要に応じて、ジョグホイールを使用して PIN コードを入力します。
3. ジョグホイールを使用して、[Remote control (リモート制御)] メニューを選択します。
4. ジョグホイールを押して確定します。
5. Automower® Connect アプリで本製品をリモート制御します。

6.4 動作モード - Park (駐車)

アプリで [Park (駐車)] を選択すると、次の動作モードを選択できます。

- *Park until further notice* (さらなる通知があるまで駐車)
- 時間の選択

6.4.1 Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)

動作モード *Park* (駐車) では、新しい動作モードが選択されて **START** ボタンが押されるまで、本製品はチャージステーションに留まります。

6.4.2 時間の選択

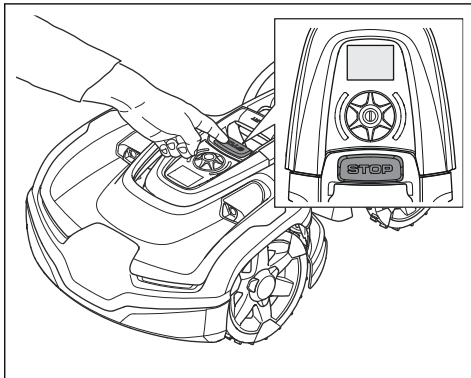
本製品はチャージステーションに戻り、選択した駐車時間の間留まります。この動作選択を使用することで、進行中の芝刈りサイクルを一時的に停止し、本製品をチャージステーションに駐車させることができます。

6.4.3 操作モード - 一時停止

Automower® Connect アプリで *[Pause (一時停止)]* を選択すると、本製品は現在の動作をやめて、一時停止します。本製品の一時停止を解除するには、Automower® Connect アプリで *[Park (駐車)]* または *[Start (スタート)]* を選択します。

6.5 本製品の停止方法

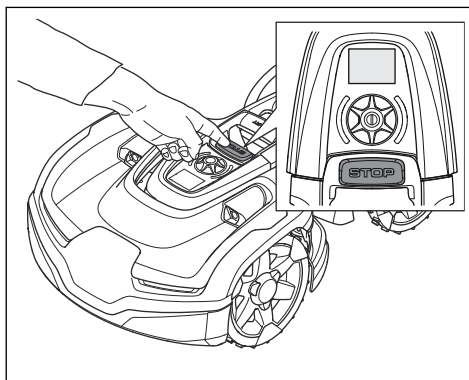
1. 本製品の上部にある **[STOP]** ボタンを押します。



本製品が停止し、カッティングモーターが停止します。

6.6 本製品をオフにする

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. 必要に応じて PIN コードを入力します。
3. **ジョグホイール**を 3 秒間押し続けます。LED ステータスインジケータが消灯することを確認します。

注記： LED インジケータが点灯している場合、または点滅している場合。参照：*LED ステータスインジケータ 11 ページ*。

注記： 本製品がチャージステーションに駐車しているときは、本製品をオフにできません。

6.7 バッテリーの充電

本製品が新品の場合や長期間の保管後は、バッテリーが空になっている可能性があります。本製品を始動する前に、バッテリーを充電してください。

1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. チャージプレートが接点プレートと接触するように、本製品をチャージステーションに配置します。
3. 本製品のディスプレイで、本製品が充電されていることを確認します。

注記： バッテリーが空の場合、本製品を起動する前に長時間充電する必要があります。

7 メンテナンス

7.1 はじめに - メンテナンス



警告： 製品のメンテナンスを行う場合は本製品を OFF に設定します。



警告： 保護グローブを着用してください。

本製品の動作を改善し、耐用年数を延長するために、定期的に清掃し、摩耗した部品を交換してください。

本製品が新品の場合は、ブレードディスクとブレードを毎週点検してください。摩耗が少ない場合は、次回ブレードディスクとブレードを点検する間隔を長くすることができます。ブレードディスクとブレードに摩耗が多い場合は、より頻繁に定期点検を行ってください。

ブレードディスクが容易に回転し、ブレード端部が損傷していないことが重要です。ブレードの通常の寿命は 3 ～6 週間です。以下の条件により、ブレードの寿命が長く、あるいは短くなります。

- ・ 作動時間および作業エリアの寸法。
- ・ 芝の長さや厚さ。
- ・ 土壌、砂、および肥料の使用。
- ・ 作業エリアの球果、ツール、石、根などの物体。

注記： ブレードの切れ味が悪い場合、刈り取り結果が不十分になる可能性があります。ブレードの交換方法については、「ブレードの交換 37 ページ」を参照してください。

7.2 メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュールには、本製品のサービスとメンテナンスの方法が記載されています。より良い動作のため、また製品寿命を延ばすために、メンテナンスのスケジュールに従ってください。

X = この取扱説明書に説明があります。

O = この取扱説明書には説明がありません。認定サービス代理店にご連絡ください。

準備	毎週	1 年に 1 回	3 年に 1 回
製品を清掃します。参照：製品の清掃 36 ページ。	X		
本製品に損傷や摩耗がないことを確認します。	X		
ファームウェアのアップデートを行います。		O	
推奨される更新があるか、サービスメッセージを確認します。		O	
サービス			
ブレードを点検し、必要に応じてブレードとブレードのネジを交換します。参照：ブレードの交換 37 ページ。	X		
チャージステーションの接点プレートを点検して研磨します。		X	
本製品のチャージプレートを点検して研磨します。		X	
本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。参照：バッテリーの充電 34 ページ。		X	
ホイールに磨耗がないか点検します。		O	
衝突ショックアブソーバーを点検して清掃します。フロント/リヤ衝突ショックアブソーバーの締付トルクを点検します。		O	
本製品が正しく取り付けられて、充電されていることを確認します。		O	
本製品の本体のチャージプレートのケーブルおよびコネクタを確認します。		O	

準備	毎週	1年に1回	3年に1回
シャーシのラバークロメットを点検して、正しく密封されていることを確認します。		○	
スキッドプレートとスキッドプレートのベアリングを点検します。		○	
刈高調整システムのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を交換します。			○
エアフローフィルターを点検して清掃します。		○	
エアフローフィルターを交換します。			○
シャーシのネジの締付トルクを確認します。		○	
シャーシを開き、シールストリップをすべて交換します。			○
フロント/リヤホイールベアリングおよびリンクアームベアリングを点検します。		○	
最後のステップ			
ソフトウェアサービスツールを使用して、本製品の機能テストを行います。		○	

7.3 製品の清掃



注意： 本製品は高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。清掃には溶剤を使用しないでください。

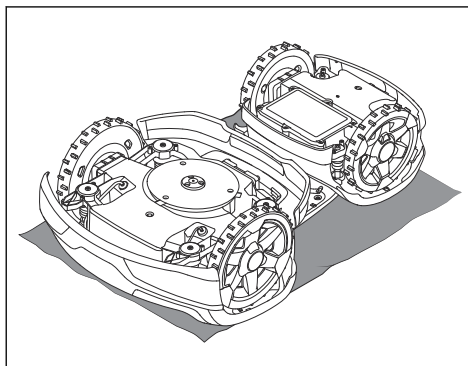
本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。本製品の清掃には柔らかいブラシを使用してください。

Husqvarna は、アクセサリとして入手可能な特別なクリーニングおよびメンテナンスキットの使用をお勧めします。詳細情報は、Husqvarna 担当者までお問い合わせください。

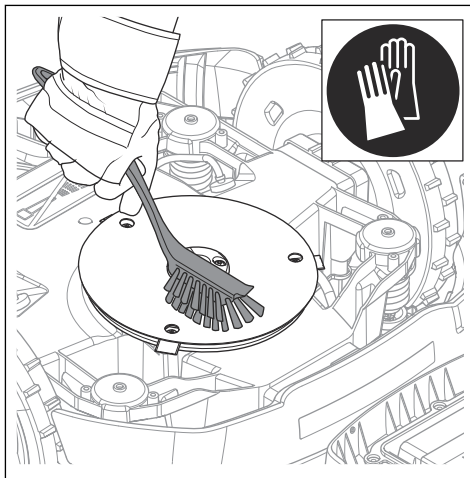
7.3.1 ブレードディスクを清掃する方法

ブレードディスクとブレードは週に 1 回点検してください。

1. 本製品をオフにします。参照：本製品をオフにする 34 ページ。
2. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。



3. ブラシを使用して、ブレードディスクを清掃します。



4. ブレードディスクがスムーズに回転することを確認してください。
5. ブレードが損傷しておらず、自由に回転することを確認します。

7.3.2 シャーシの清掃

- ブラシまたは湿らせた布でシャーシの下部を清掃します。

7.3.3 ホイールの清掃

本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。

- ホイールの清掃には柔らかいブラシを使用してください。

7.3.4 本製品の本体の清掃

- 湿らせた布と石鹸液を使用して、本製品の本体を清掃します。

7.3.5 チャージステーションの清掃



警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う場合は、電源装置をコンセントから外してください。



注意： チャージステーションは高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。

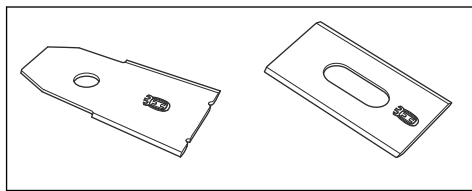
注記： チャージステーションの中に障害物があると本製品はチャージステーションの中に入れません。チャージステーションを定期的に清掃してください。

- 草や小枝などの異物をチャージステーションから取り除きます。

7.4 ブレードの交換



警告： Husqvarna は、王冠形の H マークが型押しされている Husqvarna の純正ブレードを使用する場合にのみ安全性を保証できます。

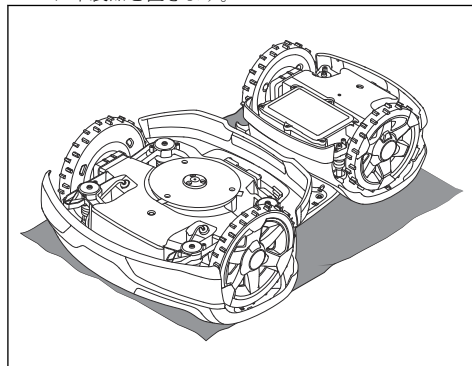


警告： ブレードを交換する場合は、ネジを交換する必要があります。使い古したネジはすぐに摩耗し、ブレードが緩むことがあります。これは、重傷の原因となる可能性があります。

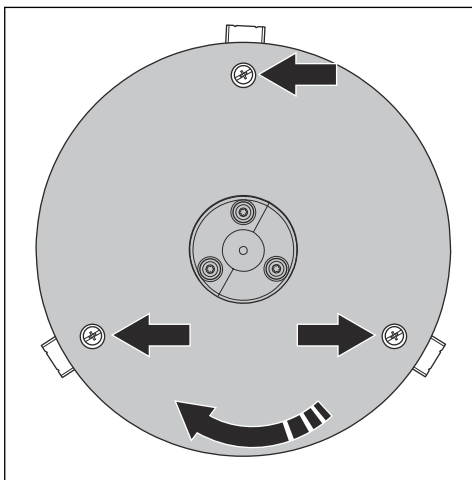
安全な操作のため、磨耗または損傷したブレードは交換してください。十分な切断結果を確保しエネルギー使用量を低減するために、ブレードは定期的に交換してください。芝刈りシステムのバランスを取るため、3 枚のブレードとねじをすべて同時に交換する必要があります。

7.4.1 ブレードの交換

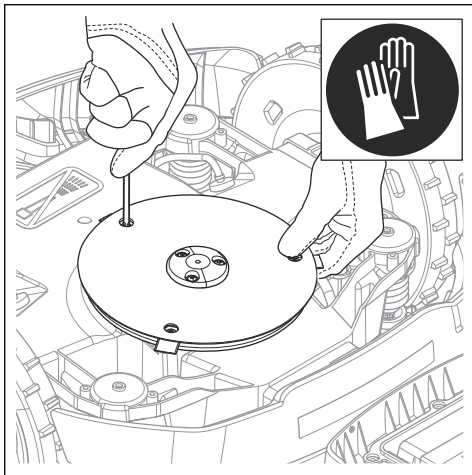
1. 本製品をオフにします。参照：本製品をオフにする 34 ページ。
2. 保護グローブを着用します。
3. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。



4. ブレードのネジがスキッドプレートの穴の位置に揃うまで、スキッドプレートを回します。



5. 3本のネジを外します。



6. 各ブレードとネジを外します。
7. 新しいブレードとネジを取り付けます。
8. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。

7.5 バッテリー



注意： 本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーの寿命が近づいていることを示しています。動作時間を長くするにはバッテリーを交換します。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を1日に稼働させる時間の長さに関連します。稼働させる時期が長い場合、または1日に稼働させる時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。

7.6 冬期の保守

冬期保管前に保守を行うため、ご使用の本製品をお近くの **Husqvarna** センtralサービスにお持ちください。冬期保守を毎年行うことで、本製品を良好な状態に保ち、次のシーズンも、問題なく最高の状態で使用することができます。

保守には、通常以下の作業エリアが含まれます。

- 本体、シャーシ、ブレードディスクおよびその他のすべての可動部品の完全な掃除。
- 本製品の機能および部品のテスト。
- ブレードやベアリングなどの摩耗する品目の点検、および必要に応じた交換。
- 本製品のバッテリー容量のテストに、および必要の場合はバッテリー交換の推奨。
- 新しいファームウェアが入手可能な場合は、本製品のアップデート。

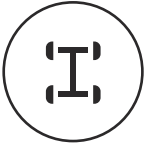
8 トラブルシューティング

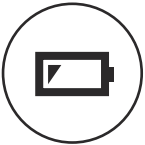
8.1 はじめに - トラブルシューティング

この章では、不具合がある場合に Automower® Connect および Automower® Access に表示されるメッセージが多数リストアップされています。各メッセージに関して、原因と取るべき対策の提案も記載されています。この章では、本製品が期待通りに作動しない場合にガイドとして役立つ、いくつかの症状も説明しています。不具合や問題が発生した際の対処方法の詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

8.2 Automower® Access ディスプレイのエラーシンボル

Automower® Access ディスプレイにエラーシンボルが表示されている場合は、**STOP** ボタンを押してメインメニューに移動します。エラーの詳細については、Automower® Connect を参照してください。

エラーシンボル	説明	対応措置
	本製品が停止しました。	問題の原因を調べます。例えば、本製品が作業エリア内にはない場合や、障害物の上に載っている場合などです。 本製品を始動します。
	駆動ホイールの周りに草などの障害物があるため、本製品が停止しました。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。本製品を始動します。問題が解決しない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
	ループ信号が見つからないため、本製品が停止しました。	Refer to the error message <i>No loop signal</i> in メッセージ 41 ページのエラーメッセージ「 <i>No loop signal</i> (ループ信号なし)」を参照してください。

エラーシンボル	説明	対応措置
	バッテリー残量が少ないため、本製品が停止しました。	Refer to the error message <i>Empty Battery</i> in メッセージ 41 ページのエラーメッセージ「 <i>Empty battery</i> (バッテリーが空です)」を参照してください。
	カッティングシステムが詰まっているため、本製品が停止しました。	ブレードディスクとその周辺部を点検してください。カッティングシステムに詰まりを引き起こすおそれのある草などの異物を取り除いてください。
	電子システムの一時的な問題またはファームウェアの問題により、本製品が停止しました。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
	アラームが作動したため、本製品が停止しました。	本製品を始動します。アラーム設定は、 Automower® Connect アプリの [<i>Security</i> (セキュリティ)] メニューで変更できます。
	誤った PIN コードが入力されたため、本製品が停止しました。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードを忘れた場合は、アプリを使用して、登録した電子メールアドレスに PIN コードを送信します。電子メールアドレスを登録していない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

8.3 メッセージ

Automower™ Connect と Automower™ Access には、下表のメッセージが表示されます。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、ハスクバーナ販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
No loop signal (ループ信号なし)	電源または低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED ステータスを確認します。LED が点灯していない場合は、電気が来ていないことを示します。コンセントの接続を調べて、アースブレーカーが落ちていないかを確認してください。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源または低電圧ケーブルが損傷しています。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	ECO モードが有効になっている状態で、本製品がチャージステーションの外で始動しようとした。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。新規ループ信号 30 ページを参照してください。
	金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	ワイヤーの設置では、境界ワイヤーを移動、および／または作業エリアのアイランドを増設することで、信号強度を高めることができます。
	ワイヤーの設置で、境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクタがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。損傷がある場合、コネクタを交換してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 24 ページを参照してください。
	ワイヤーの設置で、アイランドまでの経路上に境界ワイヤーが交差しています。	境界ワイヤーが正しく敷設されていることを確認します。境界ワイヤーを取り付ける方法 24 ページを参照してください。
	ワイヤーの設置で、境界ワイヤーが破損しています。	チャージステーションの LED で信号を確認してください。LED が境界ワイヤーの破損を示している場合は、破損箇所を確認してください。純正のカブラーを使用して、ループの損傷しているセクションを新品のループワイヤーで接合して交換してください。ループワイヤーの損傷を発見 53 ページを参照してください。
	ワイヤーの設置で、製品が境界ワイヤーから離れすぎています。	作業エリアのすべての部分が境界ワイヤーから 35 m (115 フィート) 以内になるように、境界ワイヤーを再設置します。

メッセージ	原因	対応措置
チャージステーションの信号がありません	電源または低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションのLEDインジケータを点検します。LEDインジケータが消灯している場合は、チャージステーションに給電されていません。電源コンセントと漏電遮断器を点検します。チャージステーションに低電圧ケーブルが接続されていることを確認します。
	ECOモードが有効になっています。本製品がチャージステーションの外で始動しようとしてしました。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れます。チャージステーションに新規ループ信号を作成します。
	金属性の物体や埋設ケーブルは信号干渉の原因になります。	チャージステーションを別の場所に移設します。
Wheel motor blocked (ホイールモーターがブロックされています)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
Wheel drive problem (ホイール駆動の問題)		
Cutting system blocked (カッティングシステムブロック)	草などの異物がブレードディスクに巻き付いています。	ブレードディスクを点検して、草などの異物を取り除いてください。
	ブレードディスクが水たまりに入っています。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Trapped</i> (走行不能)	本製品は、多数の障害物の背後の小さな領域で動けなくなっています。	本製品をその場所から動けなくしている障害物があるかどうかを確認してください。
<i>Wrong PIN code</i> (PINコードの誤り)	入力された PIN コードが誤っています。入力に 5 回失敗すると、本製品は一定時間ロックされます。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードが正しくない場合は、アプリのリンクを使用して、登録した電子メールアドレスに PIN コードを送信します。電子メールアドレスを登録していない場合は、最寄りの地域のハスクバーナ販売店にお問い合わせください。
<i>Empty battery</i> (バッテリー空)	境界ワイヤーを使用した設置で： 本製品がチャージステーションを見つけることができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。 <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 24 ページ</i> を参照してください。 チャージステーションの探索方法について、設置時の設定を確認してください。チャージステーションの探索 <i>28 ページ</i> を参照してください。
	EPOS® による設置の場合： 本製品がチャージステーションを見つけることができません。	本製品の位置が正確ではなく、チャージステーションが見つかりません。 障害物によって、製品がチャージステーションを見つけれられません。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。 <i>廃棄 56 ページ</i> を参照してください。
	チャージステーションのアンテナに不具合があります。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。チャージステーションの <i>LED インジケータ 50 ページ</i> を参照してください。
<i>Slipped</i> (スリップ)	本製品は何かにつかかっており、スリップしています。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因を解消してください。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。
	作業エリア内に急な斜面があります。	最大許容勾配は 70 % です。これより急な斜面は隔離してください。 <i>境界ワイヤーを斜面に設置する方法 20 ページ</i> を参照してください。
	境界ワイヤーを使用した設置で： ガイドワイヤーが斜面に適切に敷設されていません。	ガイドワイヤーが斜面に対して斜めに取り付けられていることを確認します。 <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 24 ページ</i> を参照してください。
<i>Wheel motor overloaded</i> (ホイールモーターが過負荷になっています)	本製品が何かにつかかっています。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因を解消してください。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。

メッセージ	原因	対応措置
Charging station blocked (ステーションブロック)	チャージストリップとコンタクトストリップの接触がおそらく不良で、本製品が何度も充電を試みました。	本製品をチャージステーションに置いて、チャージストリップとコンタクトストリップの接触が良好であることを確認してください。接点プレートとチャージプレートを清掃してください。
	障害物に妨げられていると、本製品がチャージステーションに入れません。	障害物を取り除いてください。
	ベースプレートが傾いているか曲がっています。	ベースプレートを平らな地面に置いてください。
Stuck in charging station (チャージステーションにスタック)	本製品はベースプレート上でスリップしています。	ベースプレートをきれいにします。
	経路に異物があるため、本製品がチャージステーションから出られなくなっています。	障害物を取り除いてください。
Upside down (上下反転)	本製品の傾きが大きすぎるか、ひっくり返っています。	本製品の上下を正しくしてください。
Mower tilted (芝刈機の傾き)	本製品の傾きが許容角度を超えています。	本製品を平らなエリアに移動してください。
Lifted (持ち上げられました)	障害物によりリフトセンサーが作動し、本製品が停止しました。	本製品を障害物から離します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者による対処が必要です。
Lifted in link arm (リンクアームが持ち上げられました)	障害物によりリンクアーム内のリフトセンサーが作動し、本製品が停止しました。	本製品を障害物から離します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者による対処が必要です。
Slope too steep (急すぎる斜面)	斜面が急すぎるため、本製品が停止しました。	作業エリアの設置を変更して、問題の急斜面を作業エリアから除きます。境界ワイヤーの敷設場所について 19 ページを参照してください。
Alarm! (注意!) Mower switched off (芝刈機スイッチオフ)	本製品がオフになったため、アラームが作動しました。	本製品のセキュリティレベルを [Security (セキュリティ)] メニューで調整してください (セキュリティ 30 ページを参照)。
Alarm! (注意!) Mower stopped (芝刈機の停止)	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	
Alarm! (注意!) Mower was moved (芝刈機が動かされました)	本製品が持ち上げられたため、アラームが作動しました。	
Alarm! (注意!) Outside geofence (ジオフェンス外)	芝刈機が GeoFence の外に出たため、アラームが起動しました。	[Automower™ Connect] メニューで、盗難防止エリア (GeoFence) を調整します。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Electronic problem</i> (電気系の問題)	電子システムまたはソフトウェア関連の一時的な問題。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
<i>Loop sensor problem</i> (ループセンサーの問題)		
<i>Tilt sensor problem</i> (傾斜センサー不具合)		
一時的な問題		
STOP ボタン不具合		
<i>Ultrasonic problem</i> (超音波の問題)		
<i>GPS navigation problem</i> (GPS ナビゲーションの問題)		
<i>Angular sensor problem</i> (角度センサーの問題)		
<i>Switch cord problem</i> (スイッチコードの問題)		
<i>Invalid sub-device combination</i> (無効なサブデバイス組み合わせ)		
<i>Invalid system configuration</i> (無効なシステム設定)		
<i>Lift sensor problem</i> (リフトセンサーの問題)		
<i>Collision sensor problem</i> (衝突センサーの問題)		
<i>Safety function faulty</i> (安全機能の不具合)		
<i>FlexiFence</i> の問題	FlexiFence アクセサリーのバッテリー残量が少なくなっています。FlexiFence アクセサリーは、バッテリーが空の場合動作しません。FlexiFence アクセサリーを充電する前に本製品を始動すると、進入制限ゾーンで芝刈りを行うことがあります。	本製品を始動する前に、本製品を駐車してFlexiFence アクセサリーを充電してください。
	FlexiFence アクセサリーの温度が上限を超えたため、オフになりました。	本製品は、日光から保護されている場所に設置してください。本製品を始動する前にFlexiFence アクセサリーの温度を下げてください。

メッセージ	原因	対応措置
一時的なバッテリーの問題	バッテリーまたはファームウェア関連の一時的な問題。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
<i>Battery problem</i> (バッテリーの問題)		
<i>Charging system problem</i> (充電システムの問題)	チャージプレートと接点プレートに腐食や汚れがあります。	本製品を再始動してください。本製品のチャージプレートおよびチャージステーションの接点プレートを清掃してください。
	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
<i>Battery temperature outside limits</i> (バッテリー温度が範囲外)	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
<i>Charging current too high</i> (高すぎる充電電流)	電源装置が間違っているか、不具合があります。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
接続の問題	Automower™ Connect モジュールの問題です。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
<i>Outside working area</i> (作業エリア外です)	チャージステーションまでの境界ワイヤーの接続が交差しています。	境界ワイヤーが正しく接続されていることを確認してください。境界ワイヤーの敷設場所について 19 ページを参照してください。
	境界ワイヤーが作業エリアの端に近すぎます。	境界ワイヤーが説明書に従って設置されていることを確認してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 24 ページを参照してください。
	境界ワイヤー、仮想境界、または仮想輸送経路が、急勾配エリアに設置されています。	
	アイランド周囲の境界ワイヤーの敷設が適切ではありません。	
	付近にある金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
	本製品が、近くにある他の製品の設置場所からの信号を区別することが困難になっています。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。新規ループ信号 30 ページを参照してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Limited cutting height</i> (刈高の制限)	刈高調整が動きません。	刈高調整を点検し、芝やその他の不要な物体を取り除いてください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
<i>Unexpected cutting height</i> (予期しない刈高)		
<i>Cutting height problem, drive</i> (刈高の問題、駆動)		
<i>Cutting height blocked</i> (刈高ブロック)		
刈高問題、方向		
<i>No power in charging station</i> (チャージステーションの電力なし)	電源装置が間違っているか、不具合があります。	電源を点検します。必要に応じて、電源を交換します。
	電源の不具合です。	停電の原因を特定して解決してください。
	接点プレートとチャージプレートが接触していません。	チャージプレートと接点プレートが接続されていることを確認します。
<i>Cutting system imbalance</i> (カッティングシステムのアンバランス)	ブレードが少なすぎるか多すぎます。	ブレードディスクのブレードを点検します。
<i>Weak GPS signal</i> (GPS 信号微弱)	作業エリアの大部分で空が遮られています。	可能であれば、障害物を取り除いてください。 GPS ナビゲーション機能を無効にし、代わりに芝生範囲機能を使用してください。芝生範囲 29 ページを参照してください。
<i>Collision sensor problem, front/rear</i> (衝突センサー不具合、前/後) <i>Collision</i> (衝突)	障害物が原因で本製品が停止しました。	本製品を障害物から取り除き、停止の原因を調べます。
	製品本体がシャーシの周囲を自由に動くことができません。	シャーシと本体の間にある汚れや異物を取り除き、本製品の本体がシャーシの周囲を自由に移動できることを確認してください。
	本製品の本体にゴム製ダンパーが正しく取り付けられていません。	ゴム製ダンパーが製品本体とシャーシに正しく取り付けられていることを確認します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
シャーシの衝突	本製品が EPOS® モジュールで衝突を検出しました。	製品に衝突している物体を取り除きます。物体を取り除けない場合、進入制限ゾーンを設けます。境界ワイヤーを設置する場合、物体の周囲にアイランドを作成します。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Destination not reachable</i> (移動先到達不可)	作業エリアまでの経路上に、通行をブロックする進入禁止が設定されているため、本製品は移動先に到達できません。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	EPOS® による設置で、作業エリアへの輸送経路がありません。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	EPOS® による設置で、チャージステーションに戻る経路が障害物でブロックされています。	障害物を取り除きます。
	EPOS® による設置で、メンテナンスポイントへの経路が障害物でブロックされています。	
<i>Destination blocked</i> (移動先ブロック)	移動先への経路が障害物によりブロックされています。	移動先への経路で、ブロックしている障害物を取り除きます。
	移動先への経路が進入制限ゾーンによりブロックされています。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	EPOS® による設置で、作業エリアへの輸送経路がありません。	作業エリアへの輸送経路を作成してください。
<i>Battery needs replacement</i> (バッテリーの交換が必要)	バッテリーの健全性状態が低下しています。	バッテリーを交換します。認定サービス技術者に連絡してください。
<i>Battery near end of life</i> (バッテリーの寿命が近づいています)	バッテリーの健全性状態が大幅に低下しています。	バッテリーを交換します。認定サービス技術者に連絡してください。
<i>Invalid firmware configuration</i> (無効なファームウェア設定)	本製品のファームウェアが無効です。	本製品をチャージステーションに駐車して、FOTA 経由でファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
地図の問題	地図オブジェクトファイルが正しくありません。	アプリの地図を点検します。地図を調整して保存してください。
		地図を削除して新たにインストールしてください。
修正データがありません	Husqvarna® Cloud の EPOS® に技術的な問題があります。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
	本製品に携帯電話接続がないため、修正データを受信できません。	本製品が動作するエリア全体が、携帯電話の通信可能範囲内にあることを確認してください。

メッセージ	原因	対応措置
作業エリアの改ざん	チャージステーションまたはリファレンスステーションが移動されました。	地図を新たにインストールしてください。
Guide 1/2/3 not found (ガイド 1/2/3 不明)	ガイドワイヤーがチャージステーションに接続していません。	ガイドワイヤーのコネクターがチャージステーションにしっかりと取り付けられているか点検してください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 24 ページを参照してください。
	ガイドワイヤーが破損しています。	どこが損傷しているか探してください。純正のカプラーを使用して、ガイドワイヤーの損傷しているセクションを新品のループワイヤーと接合して交換してください。
	ガイドワイヤーが境界ループに接続されていません。	ガイドワイヤーが境界ループに正しく接続されているか点検してください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 24 ページを参照してください。
衛星の検索中	リファレンスステーションへの衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、製品が始動します。
		リファレンスステーションの設置を確認します。
	製品への衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、本製品は始動します。
		本製品と上空の間に、衛星信号に干渉する物体がないかどうかを確認します。物体を除去するか、新たに設置を行って、作業エリアにこれらの物体がないようにします。仮想境界を使用した設置 14 ページを参照してください。
リファレンスステーションの通信の問題	製品がリファレンスステーションに接続されていません。	製品とリファレンスステーションのペアリングを行います。
	リファレンスステーションが正しく設置されていません。	リファレンスステーションの設置を確認します。
	本製品が動作するすべてのエリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信できません。	すべての作業エリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信しているかを確認します。受信していない場合は、新たにリファレンスステーションの設置または地図のインストールを行います。仮想境界を使用した設置 14 ページを参照してください。
	電源の不具合です。	リファレンスステーションの電源不具合の原因を調べて修正してください。
	リファレンスステーションでエラーが発生し、LED インジケータが赤色で点滅しています。	リファレンスステーションの電源を切断し、再度接続してから、リファレンスステーションを再起動します。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	エリア内の別のリファレンスステーションまたは他の無線システムとの干渉が生じています。	本製品を再起動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Connection changed</i> (接続が変更されました)	新しいループ信号が正常に変更されました。	特別な操作はありません。
<i>Connection NOT changed</i> (接続は変更されませんでした)	ループ信号の変更に失敗しました。	新しいループ信号を作成し、数回試行します。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。 新規ループ信号 30 ページを参照してください。

8.4 チャージステーションの LED インジケータ

正しく取り付けられている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色です。チャージステーションの LED インジケータが緑色でない場合は、次のトラブルシューティング表に従ってください。

最寄りの Husqvarna 販売店に問い合わせるか、
www.husqvarna.com で詳細を確認してください。

LED インジケータ	原因	対応措置
緑色に点灯	チャージステーションの信号は良好です。	特に必要ありません。
緑色に点滅	チャージステーション信号は良好で、ECO モードが有効になっています。	特に必要ありません。
青色に点滅	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーをチャージステーションに接続します。
	境界ワイヤーが損傷しています。	境界ワイヤーの損傷した部分を、新品の境界ワイヤーに交換します。
赤色に点滅	チャージステーションのアンテナに干渉があります。	最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
赤色に点灯	回路基板のエラーか、チャージステーションに不適切な電源が接続されています。	エラーは必ず認定サービス技術者が修正してください。最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

8.5 症状

本製品が期待通りに作動しない場合は、下の症状ガイドに従ってください。

www.husqvarna.com には FAQ (よく尋ねられる質問集) があり、多くの一般的な質問に対する詳細な回答が記載されています。故障の原因がわからない場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

症状	原因	対応措置
本製品がうまくドッキングしない。	境界ワイヤーがチャージステーションからまっすぐ敷設されておらず、十分な距離がありません。	チャージステーションが説明書に従って設置されていることを確認してください。参照：チャージステーションを設置する方法 23 ページ
	チャージステーションが斜面上にあります。	チャージステーションを全体が水平な表面に置いてください。参照：チャージステーションの設置準備 15 ページ。
本製品が指定していない時間に作動する。	本製品の時計を設定する必要があります。	時計を設定します。参照：Time & date (時刻 & 日付) 30 ページ。
	芝刈りの開始時刻と終了時刻が不正確です。	開始時刻をリセットし、[Schedule (スケジュール)] 設定を変更します。参照：スケジュール 27 ページ。
本製品が振動する。	ブレードが損傷すると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。参照：ブレードの交換 37 ページ。
	同じ位置にあるブレードが多すぎると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	各ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	異なるバージョン (厚さ) の Husqvarna ブレードが使用されています。	ブレードのバージョンが異なっていないかを調べてください。
走行するが、ブレードディスクが回転していない。	本製品は、チャージステーションを探しています。	特別な操作は必要ありません。本製品がチャージステーションを探しているときは、ブレードディスクは回転しません。
バッテリーが空で、本製品をチャージステーションに駐車しても充電されずオンにすることができない。	バッテリーが完全に放電している場合は、バッテリーを充電して本製品をオンにできるまで長時間かかります。	本製品をチャージステーションに 24 時間駐車してから、本製品をオンすることができるかをテストします。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
1 回の充電で持続する本製品の芝刈り時間が通常よりも短い。	草などの異物がブレードディスクを妨害しています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。参照：ブレードの交換 37 ページ。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。参照：バッテリーの取り外し方法 56 ページ。
芝刈り時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。参照：バッテリーの取り外し方法 56 ページ。

症状	原因	対応措置
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	[STOP] ボタンが作動しました。	[START] ボタンが押し下げられていることを確認します。
	パーキングモードがオンになっています。	Automower® Access または Automower® Connect で操作モードを選択します。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合は、本製品は動作できません。	チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
芝刈りの結果が不均一。	1 日あたりの本製品の作動時間が少なすぎます。	芝刈り時間を長くします。参照：スケジュール 27 ページ。
	作業エリアの配置に関して、[Lawn coverage (芝生範囲)] 機能の設定が適切ではありません。	Lawn coverage (芝生範囲) 機能の設定を確認してください。参照：芝生範囲 29 ページ。
	作業エリアの形状によっては、本製品がすべてのリモートエリアへの経路を見つけられるように [Area 1-5 (エリア 1~3)] を使用する必要があります。	[Area 1-5 (エリア 1~3)] を使用して、本製品がリモートエリアに移動できるようにしてください。参照：芝生範囲 29 ページ。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアを限定するか、作業時間を延長してください。参照：スケジュール 27 ページ。
	ブレードが鈍くなっています。	すべてのブレードを交換します。参照：ブレードの交換 37 ページ。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を大きくしてから徐々に下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が蓄積しています。	ブレードディスクがスムーズに、容易に回転することを確認してください。そうでない場合は、ブレードディスクのネジを緩めて、草や異物を取り除いてください。参照：ブレードディスクを清掃する方法 36 ページ。
製品が Automower® Connect アプリに接続されない。	本製品は以前にアプリに接続されたことがなく、本製品が Automower® Connect アプリの My mowers (登録した芝刈機) のリストにありません。	本製品とモバイルデバイスのペアリング操作を行います。Automower® Connect アプリとのペアリング操作 26 ページ。
製品に Automower® Connect アプリとの Bluetooth® (短距離) 接続しかなく、携帯電話 (長距離) 接続ができない。	製品に Automower® Connect アプリへの携帯電波長距離接続がありません。	Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにインストールします。Automower® Connect を選択して新しいペアリング操作を行います。
追加のモバイルデバイスと本製品を接続できない。	Bluetooth® で同時に本製品に接続できるモバイルデバイスは 1 つだけです。	接続された他のすべてのデバイスで Automower® Connect アプリを無効にしてください。問題が解決しない場合は、接続されたモバイルデバイスをオフにして再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

症状	原因	対応措置
以前は携帯電波接続が使用できたが、使用できなくなった。	携帯電波の接続に問題があります。	- エリアが携帯電波の範囲内であることを確認してください。 - アプリで Automower® Connect を無効にしてもう一度有効にします。1 時間待ってから再始動します。 - 本製品を再始動してください。 - アプリに新しいファームウェアがある場合はインストールして最新のファームウェアにしてください。 Automower® Connect アプリの最新バージョンがインストールされていることを確認してください。 - 問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

8.6 ループワイヤーの損傷を発見

ループワイヤーの損傷は、通常ショベルを使用した庭仕事など、意図せずにワイヤーを物理的に損傷するために起こります。また、霜柱の立つ国では、尖った石が地中で移動して、ワイヤーを損傷することがあります。設置時にワイヤーを張り過ぎた場合も、損傷することがあります。

設置直後に芝を短く刈り込み過ぎた場合も、ワイヤーの絶縁体を損傷することがあります。絶縁体を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。これを防止するため、設置後の最初の数週間は必ず最大の刈高を選択し、それから 2 週間ごとに一度に 1 段階ずつ高さを下げて、希望の刈高に達するようにします。

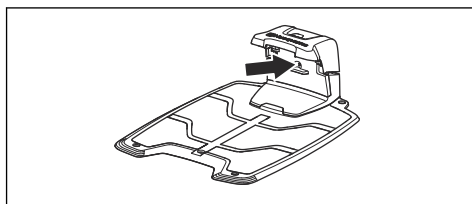
ループワイヤーの接合不良により、接合を行ってから数週間で作業が中断することがあります。接合不良は、例えば、カブラーをブライヤーで十分に圧着していない場合や、純正カブラーより品質が劣るカブラーを使用した場合に発生することがあります。他のトラブルシューティングを行う前に、まずすべての接合を点検してください。

ワイヤーが破損している場所は、破損が発生していそうな場所で、徐々にループの距離を半分にしなが、非常に短いワイヤーのセクションだけが残るようにすることで発見できます。

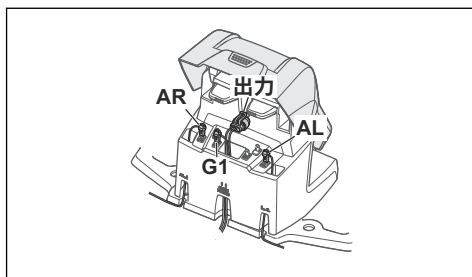
ECO モードが有効な場合は、以下の方法は使用できません。最初に必ず **ECO** モードをオフにしてください。

ECO モード 28 ページを参照してください。

1. チャージステーションのインジケータランプが青色で点滅していることを確認します。この場合、境界ループの破損を示しています。チャージステーションの **LED** インジケータ 50 ページを参照してください。



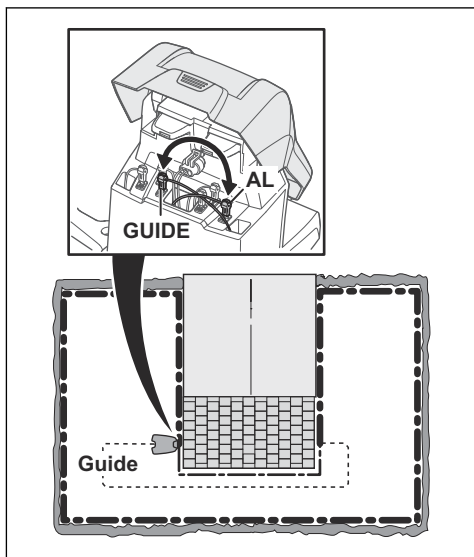
2. チャージステーションまでの境界ワイヤーが正しく接続されており、損傷していないことを確認します。チャージステーションのインジケータランプがまだ青色に点滅しているかどうか点検してください。



3. チャージステーションでガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を切り替えます。

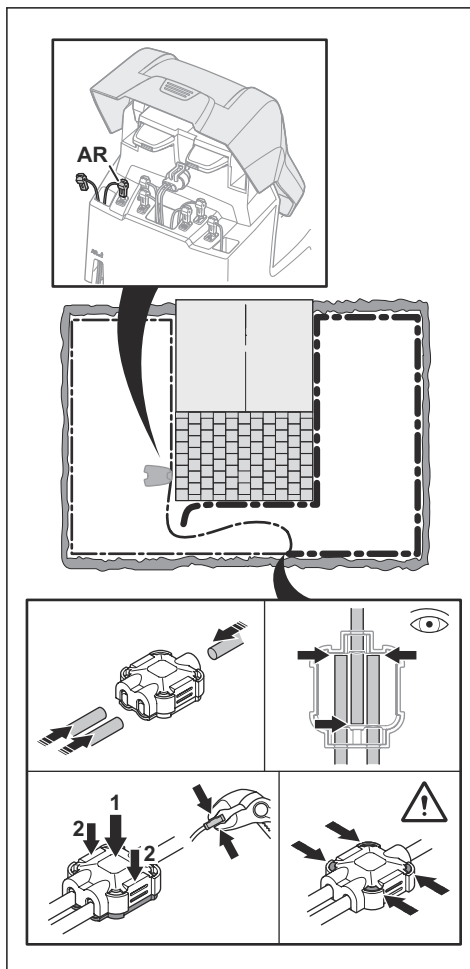
AL および **G1** の接続を切り替えて開始します。一部のモデルには、追加のガイドワイヤー (**G2**, **G3**) が付属しています。これらのワイヤーについても同じ手順に従うことができます。

インジケータランプが緑色で点灯する場合は、境界ワイヤー上の **AL** とガイドワイヤーが境界ワイヤーに接続されている地点の間 (図の黒い太線) のどこかで破損しています。

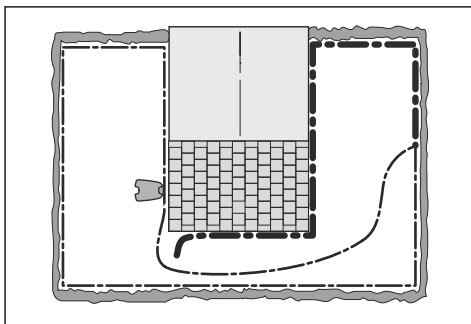


この不具合を修正するには、境界ワイヤー、コネクター、およびカブラーが必要です。

- a) 問題があると思われる境界ワイヤーが短い場合、最も簡単な方法はALと、ガイドワイヤーと境界ワイヤー（太い黒い線）が接続する地点との間にあるすべての境界ワイヤーを交換することです。
- b) 問題があると思われる境界ワイヤーが長い場合（太い黒い線）、次の手順を実行します。ALとG1を元の位置に戻します。ARの接続を外します。新品のループワイヤーをARに接続します。この新品のループワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。

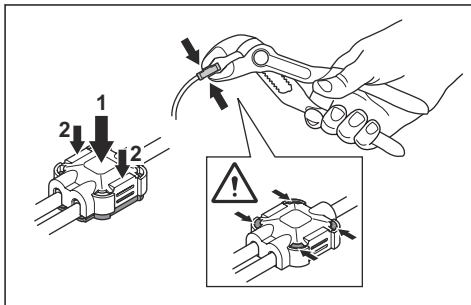


インジケータランプが緑色になったら、接続を解除した端から新しいワイヤーを接続した地点の間（下の図の黒い太線）のどこかでワイヤーが破損しています。この場合は、接続解除した端に新しいワイヤーを近づけて（破損が疑われるワイヤーセクションのほぼ中央まで）、インジケータランプが緑色になるか再度確認します。



緑色点灯と青色点滅が切り替わるワイヤーのセクションが非常に短くなるまで、この作業を続けます。以下の手順 5 の指示に従います。

4. 上記の手順 3 でインジケータランプが青色で点滅したままの場合: **AL** と **G1** を元の位置に戻します。次に **AR** と **G1** を切り替えます。インジケータランプが緑色で点灯している場合、**AL** の接続を外して、新しい境界ワイヤーを **AL** に接続します。この新品のワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。上記の **3a)** および **3b)** と同じ手順に従います。
5. 破損を特定できたら、破損しているセクションを新品のワイヤーに交換します。常に純正のカブラーをお使いください。



9 搬送、保管、廃棄

9.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- 該当するすべての国内規制に従ってください。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

9.2 保管

- 本製品を完全に充電します。参照： *バッテリーの充電 34 ページ*。
- 本製品をオフにします。参照： *本製品をオフにする 34 ページ*。
- 製品を清掃します。参照： *製品の清掃 36 ページ*。
- 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管してください。
- 本製品のすべてのホイールを水平面に接地させます。
- チャージステーションを屋内に置いておく場合は、チャージステーションから電源とすべてのコネクタを取り外します。各コネクタワイヤーの端をコネクタ保護ボックスに入れます。

注記： チャージステーションを屋外に置いておく場合は、電源とコネクタを外さないでください。

- 製品の保管に使用できるアクセサリについての情報は、Husqvarna 販売店に連絡してください。

9.3 廃棄

このマークは、本製品が家庭ゴミではないことを示します。お住まいの地域の電気および電子機器回収システムでリサイクルしてください。リサイクルをすることで、廃棄物の適切な管理が可能になります。詳細については、各地域の自治体、一般廃棄物処理サービス、販売店または小売店にお問い合わせください。有害物質が存在する可能性があるため、適切に廃棄しないと、環境や人体に悪影響を及ぼすおそれがあります。



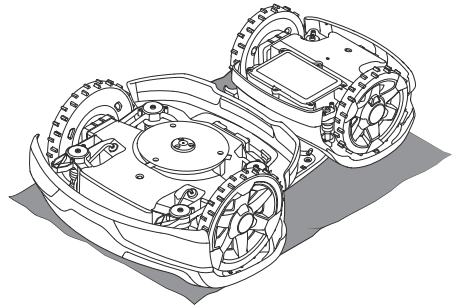
注記： マークは、本製品または製品の梱包材に表示されています。

9.3.1 バッテリーの取り外し方法

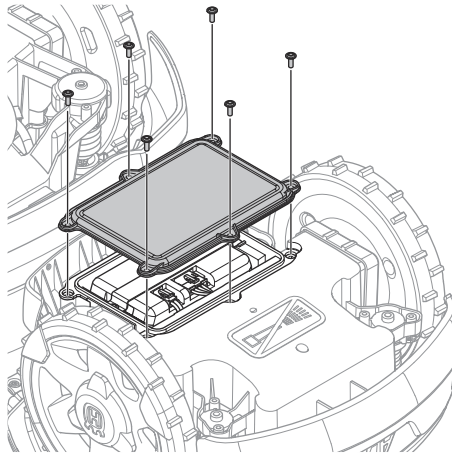


注意： バッテリーは、製品を廃棄するときのみ取り外してください。

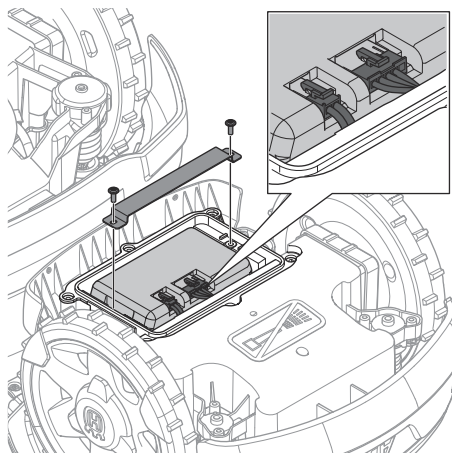
1. 本製品をオフにします。参照： *本製品をオフにする 34 ページ*。
2. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。



3. 6 本のネジとバッテリーカバーを取り外します。



4. 2本のネジとブラケットを取り外します。



5. 2本のケーブルをバッテリーから外し、バッテリーを取り外します。

10 主要諸元

10.1 主要諸元

寸法	Automower® 435X AWD NERA
長さ (cm/インチ)	93/36.6
幅 (cm/インチ)	55/21.7
高さ (cm/インチ)	33/13.1
質量、kg/ポンド	18.1/39.9

電気系統	Automower® 435X AWD NERA
リチウムイオンバッテリー 18.0 V/8.0 Ah、品番	534 19 93-01、534 19 93-02、534 19 93-03、534 19 93-04
電源 (28 V DC)、V AC	100/240
低電圧ケーブル長、m/フィート	10/33
最大使用時での平均エネルギー消費量	25 kWh/月 (作業エリア : 3500 m ²)
充電電流、A DC	7
電源装置のタイプ ⁷	FW7458/28/D/XX/Y、ADP-200MR XX
一般的な芝刈り時間 (分)	145
一般的な充電時間 (分)	45

境界ワイヤーアンテナ	Automower® 435X AWD NERA
動作周波数帯、Hz	100~80000
最大磁界、dBuA/m ⁸	82
最大無線周波電力 ⁹ 、mW @60m	<25

音響データ ¹⁰	Automower® 435X AWD NERA
知覚騒音レベル、dB (A)	60
計測音響騒音レベル、dB (A)	60
保証音響騒音レベル、dB (A)	62
騒音放射の不確定性 KWA、dB (A)	2
使用者の耳における音圧騒音レベル ¹¹ 、dB (A)	49

⁷ XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。「XX」は JP などの国バージョンを示し、「Y」は V などの製品リビジョンを示します。

⁸ EN 303 447 に基づいて測定。

⁹ 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

¹⁰ 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。ただし、ISO 11094:1991 に従って測定される知覚騒音レベルを除く。

¹¹ 音圧騒音の不確実性 K_{pa}、2~4 dB (A)。

芝刈り	Automower® 435X AWD NERA
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)
カッティングモーターの最大回転数、r/min	2475
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	42
刈高、cm/インチ	3~7/1.2~2.8
刈幅、cm/インチ	22/8.7
ワイヤー設置に要する最も狭い幅 (cm/インチ)	60/24
EPOS™ 設置に要する最も狭い幅 (cm/インチ)	200/80
作業エリアの最大斜度、%	70
境界ワイヤーの最大斜度、%	50
ガイドの数	3
境界ワイヤーの最大長、m/フィート	800/2600
最大長のガイドループ ¹² 、m/フィート	400/1300
対応エリア - 不均一、m ² /エーカー	3500/0.9
対応エリア - EPOS™ により体系化、m ² /エーカー	5000/1.25

IP コード	Automower® 435X AWD NERA
ロボット芝刈機	IPX4
チャージステーション	IPX1
電源	IP44

対応周波数帯	
Bluetooth® 周波数帯	2400.0~2483.5 MHz
Automower® Connect 2G	GSM 850 MHz、E-GSM 900 MHz、DCS 1800 MHz、PCS 1900 MHz
Automower® Connect 4G	バンド 12 (700 MHz)、バンド 28 (700 MHz)、バンド 13 (700 MHz)、バンド 20 (800 MHz)、バンド 26 (850 MHz)、バンド 5 (850 MHz)、バンド 19 (850 MHz)、バンド 8 (900 MHz)、バンド 4 (1700 MHz)、バンド 3 (1800 MHz)、バンド 2 (1900 MHz)、バンド 25 (1900 MHz)、バンド 1 (2100 MHz)、バンド 18 (850 MHz)、バンド 66 (1700 MHz)、バンド 85 (700 MHz)
SRD868 (欧州)	863~870 MHz
SRD915 (北米)	902~928 MHz
SRD915 (オーストラリア)	915~928 MHz
SRD915 (ニュージーランド)	915~928 MHz

¹² ガイドループとは、チャージワイヤーに適切に接続されたガイドワイヤーに連結した境界ワイヤーの一部とガイドワイヤーによって形成されるループです。

出力クラス		
Bluetooth® 出力電力	8 dBm	
Automower® Connect 2G	出力クラス 4 (GSM/E-GSM)	33 dBm
	出力クラス 1 (DCS/PCS)	30 dBm
	出力クラス E2 (GSM/E-GSM)	27 dBm
	出力クラス E2 (DCS/PCS)	26 dBm
Automower® Connect 3G	出力クラス 3	24 dBm
Automower® Connect 4G	出力クラス 3	23 dBm
SRD868 (欧州)	13 dBm	
SRD915 (北米)	13 dBm	
SRD915 (オーストラリア)	13 dBm	
SRD915 (ニュージーランド)	13 dBm	

この一般的な技術データからの偏差は、国別の章に記載されています。

ハスクバーナ AB は、リモコン、無線送信機、ヒアリンググループ、地下の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。

本製品は英国またはチェコ共和国で製造されています。シリアルプレートの情報を参照してください。はじめに 8 ページを参照してください。

10.2 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは、Bluetooth SIG, inc. が所有する登録商標です。当該マークの使用について、Husqvarna は、ライセンスの許諾を受けています。

11 日本市場に適用可能

11.1 コンプライアンス要件

Bluetooth® モジュールおよび携帯電話通信モジュールは、本製品に内蔵されています。これらには、認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

このロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは次の法律に基づいて日本国内での使用が認められています：電波法 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。



R

D210191003



T

202-SMG024



AUTOMOWER® はハスクバーナABが所有する商標です。
著作権© 2025 HUSQVARNA。無断複写・転載を禁じます。

www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1144759-79



2025-09-19